

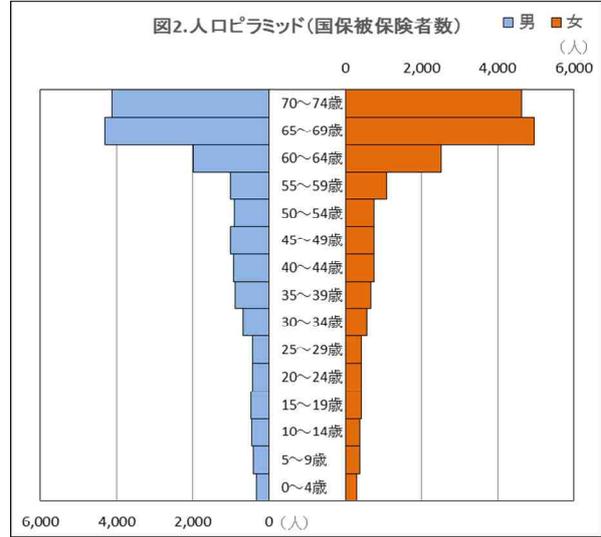
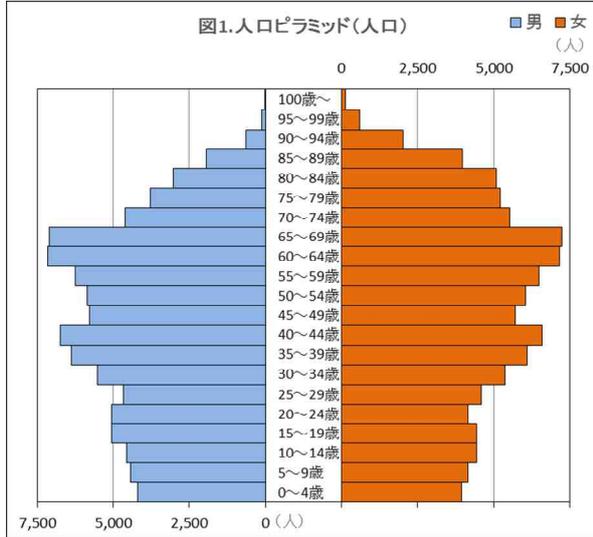
## 各市町村の状況

# 鳥取市

## 概要

人口総数	191,807人
高齢化率	26.6%
国保被保険者数	37,398人
国保加入率	19.5%
国保被保険者の平均年齢	55.1歳

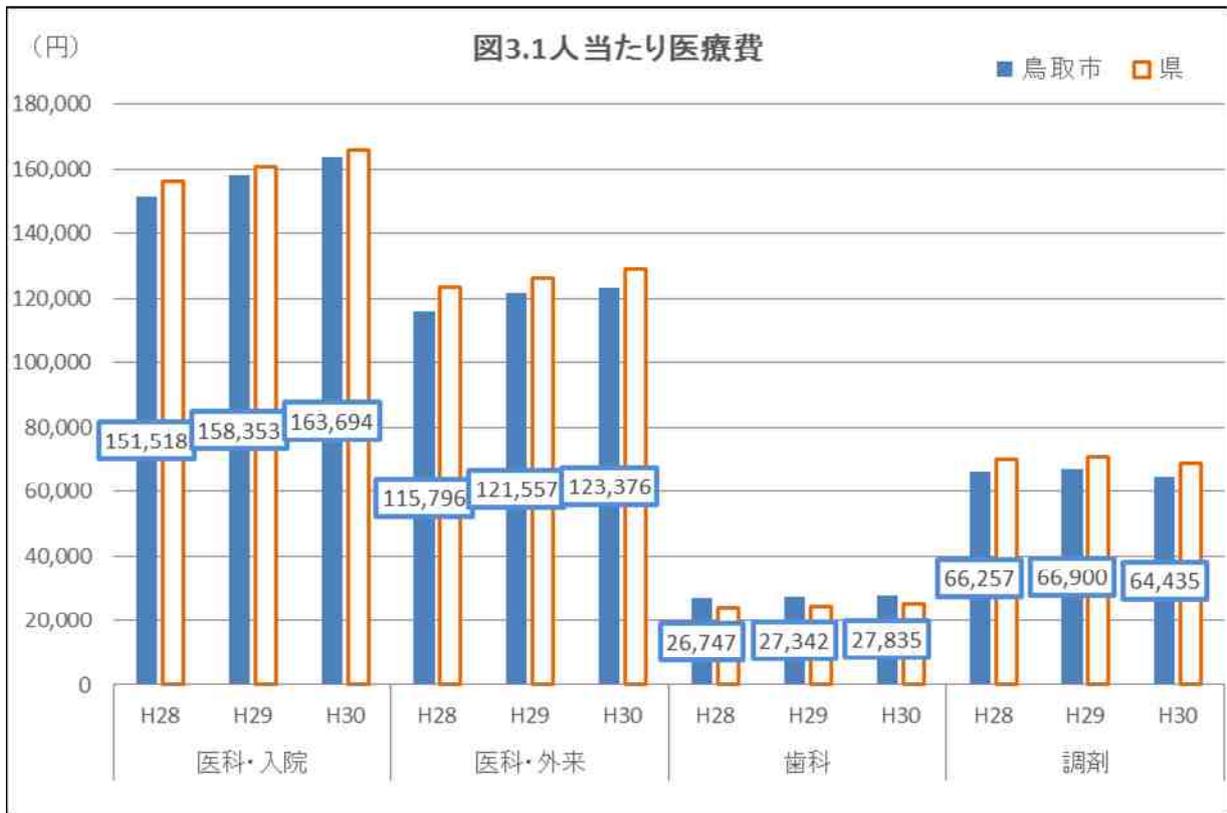
出典：KDB帳票No.3(平成30年度累計)



出典：KDB帳票No.5(平成30年度累計)

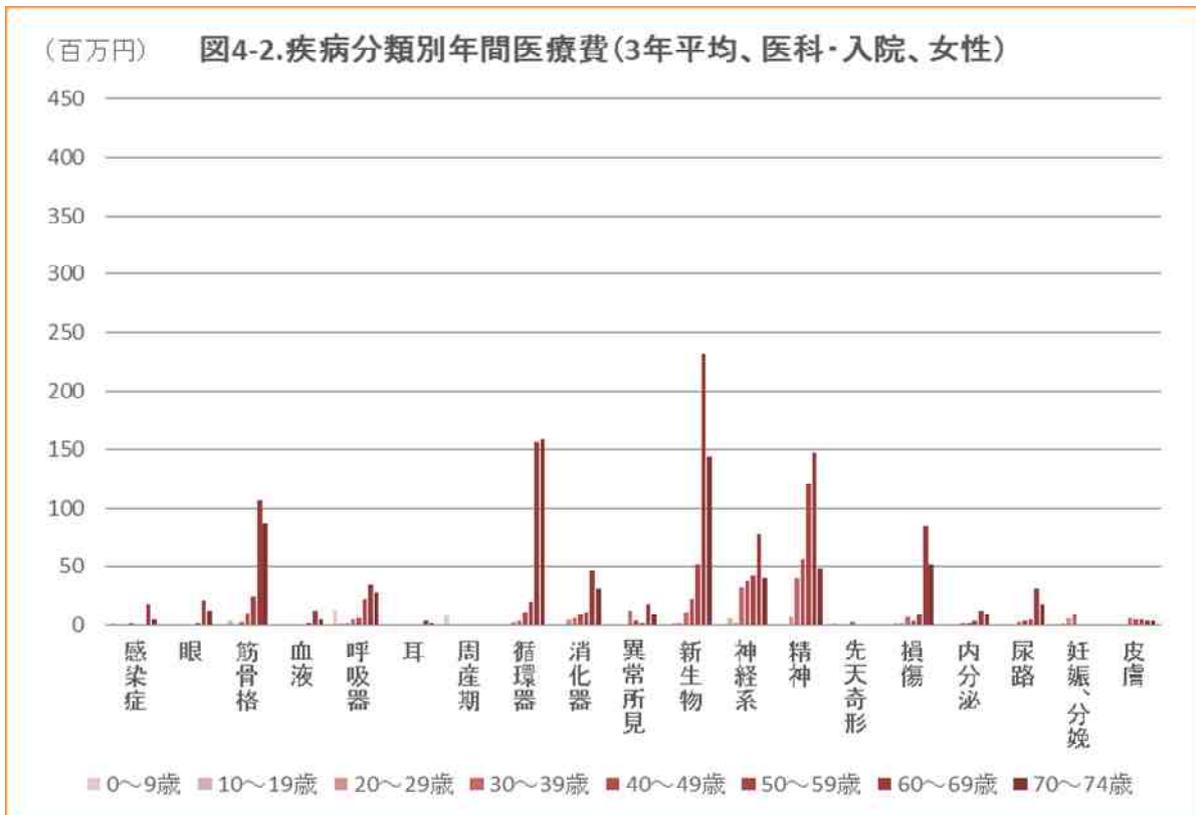
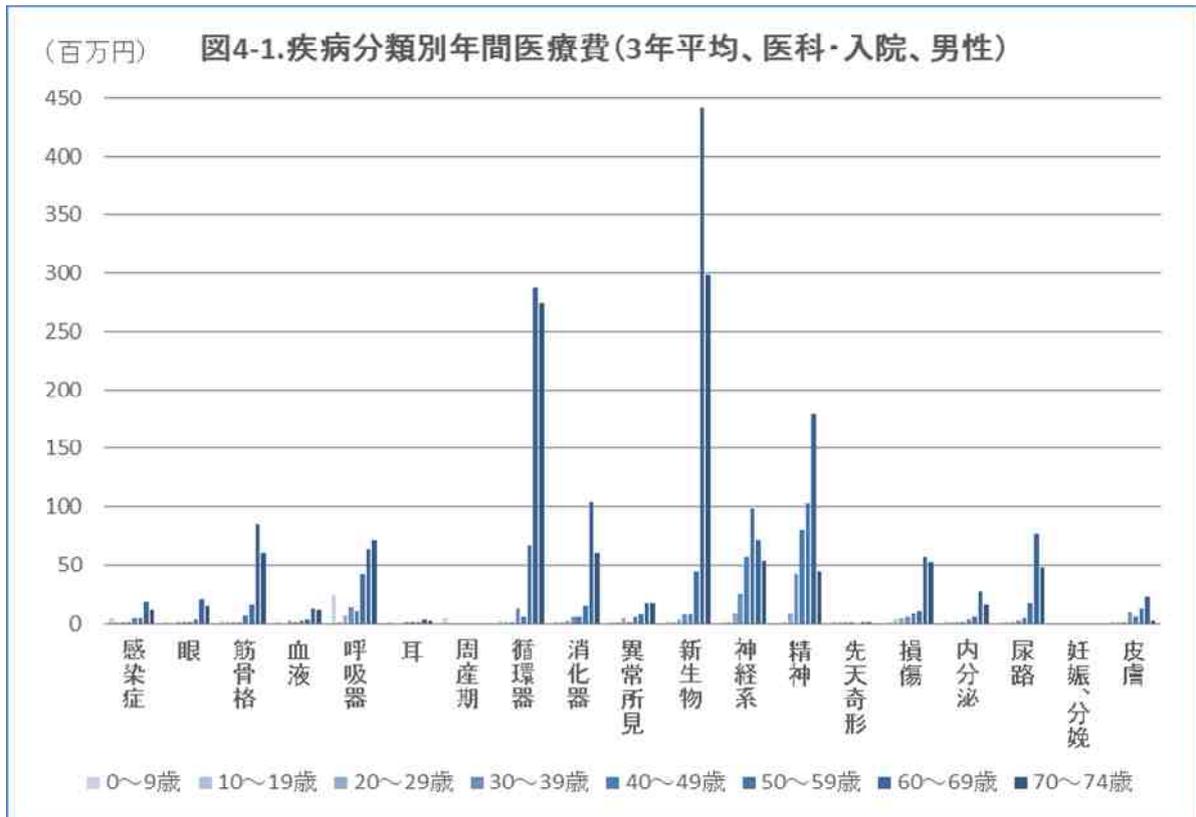
# 鳥取市

## 医療費の状況



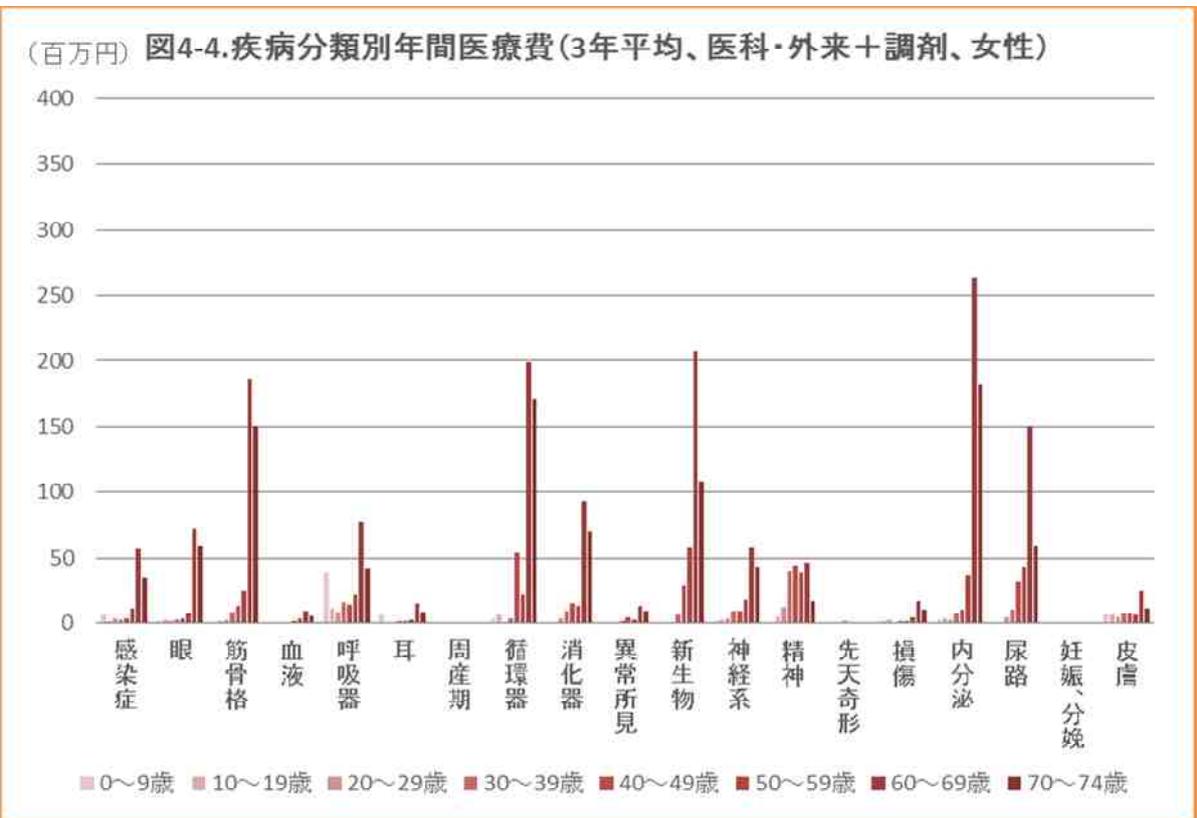
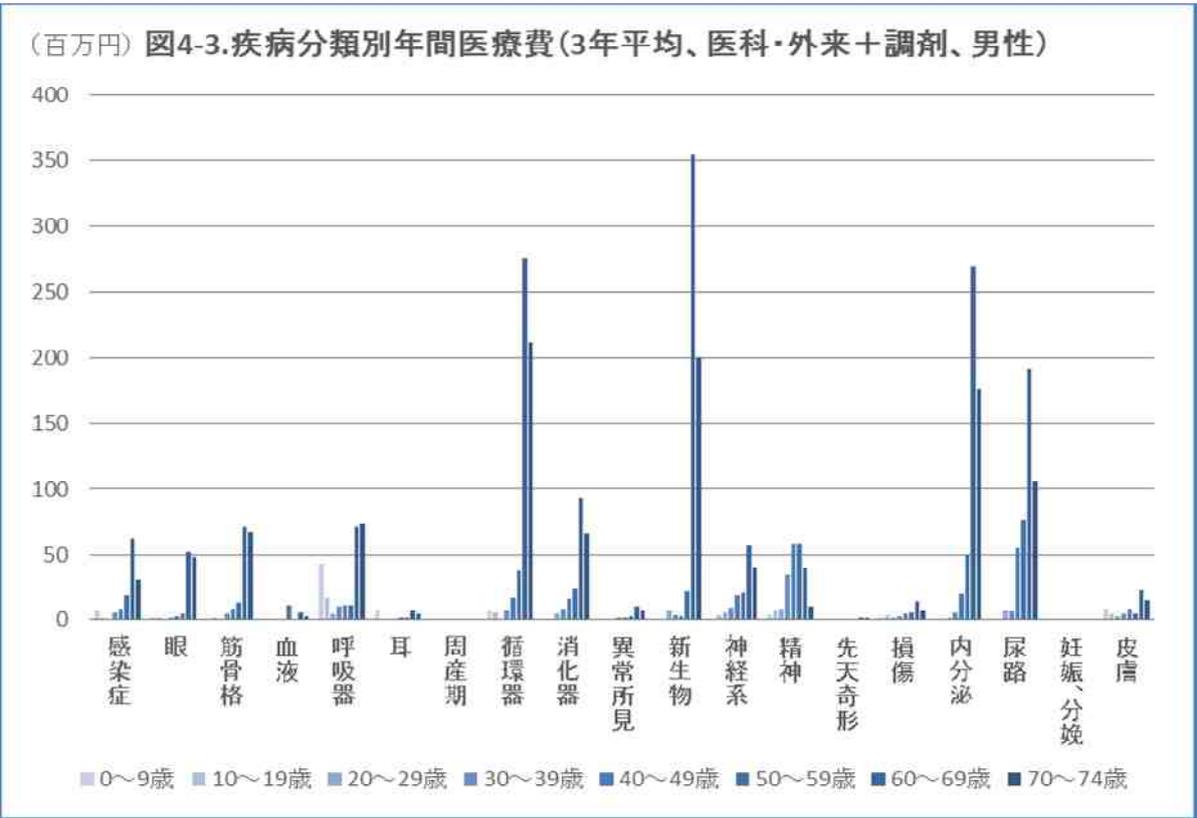
市町村のみ、グラフに1人当たり医療費を表示

出典：国保総合システム(平成28～30年度)



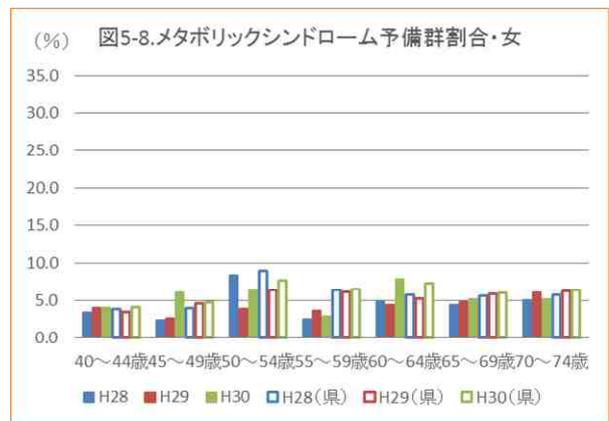
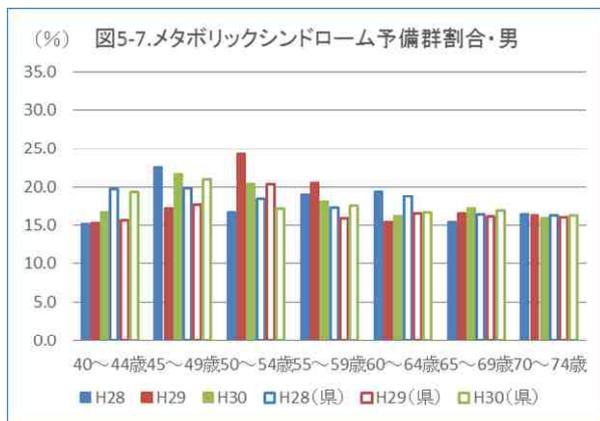
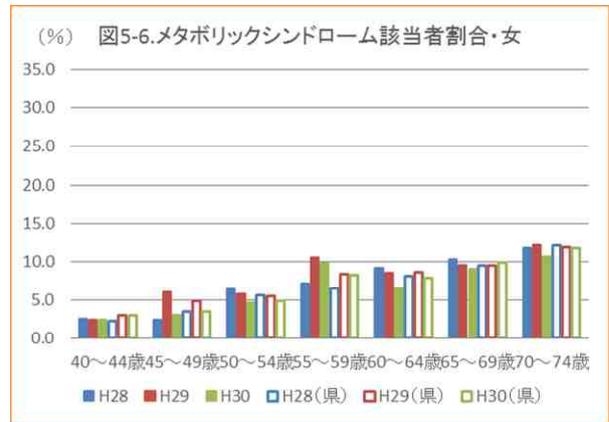
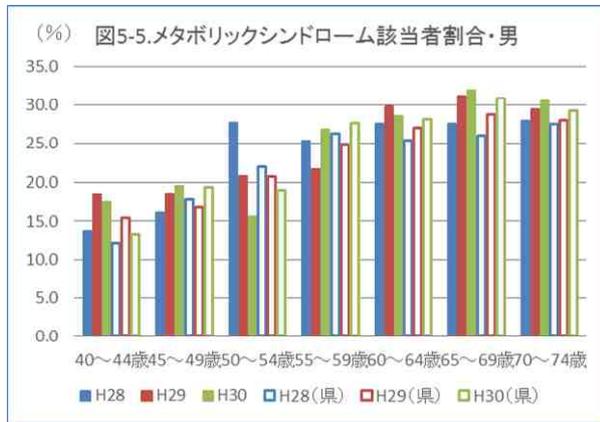
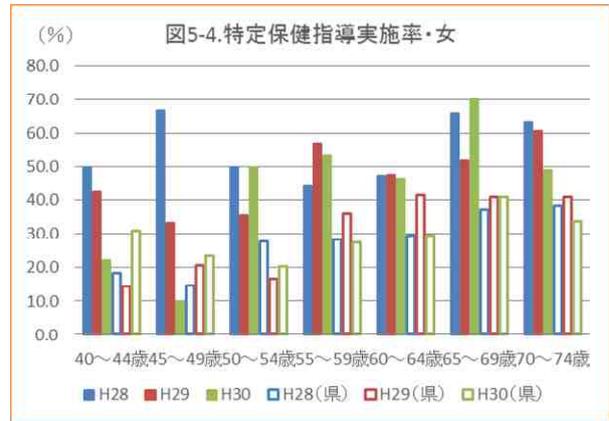
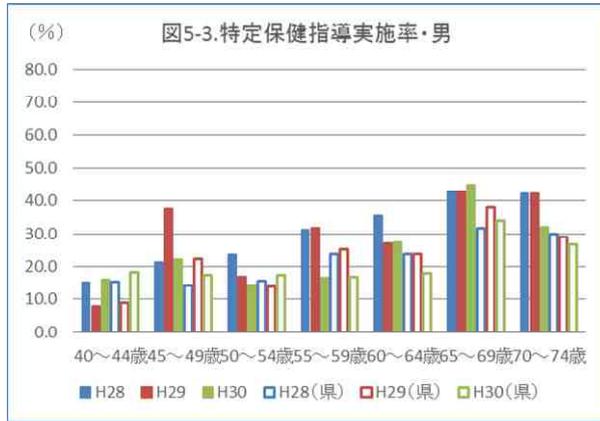
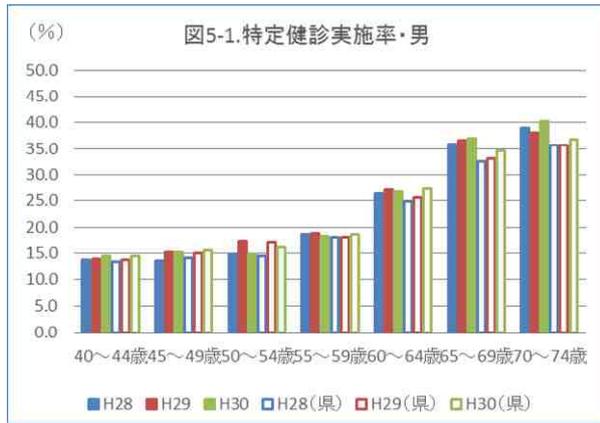
本データは、医科に係る入院レセプトのみ

出典：KDB帳票No.42(疾病別医療費分析(大分類))(平成28~30年度)

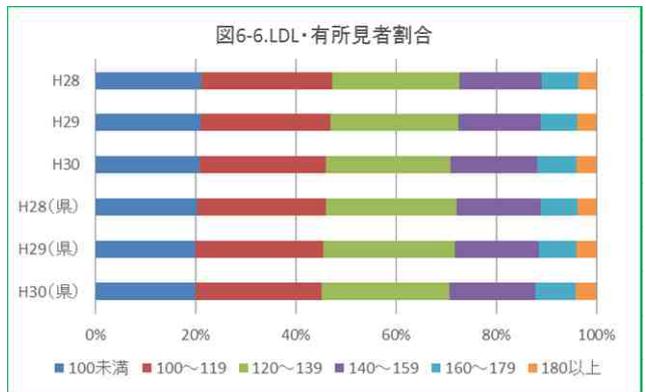
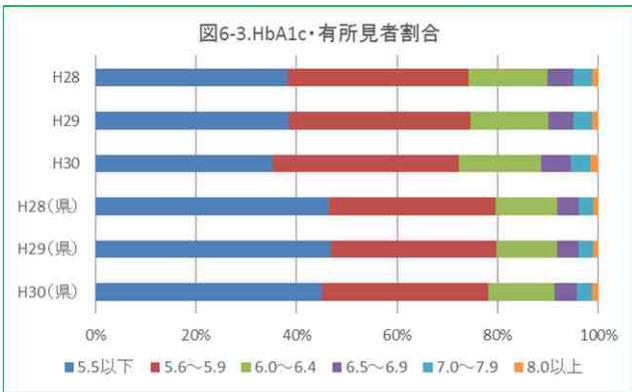
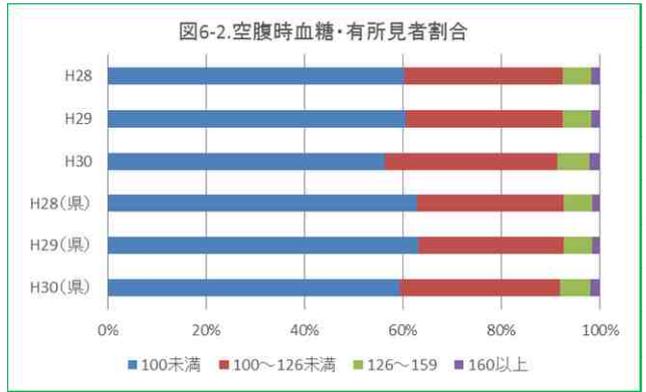
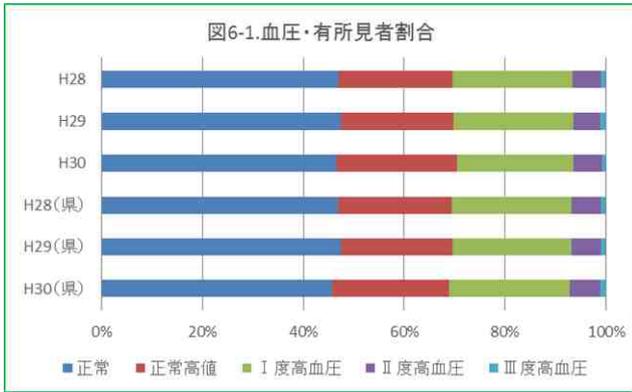


本データは、医科に係る外来レセプトとそれに紐づく調剤レセプト

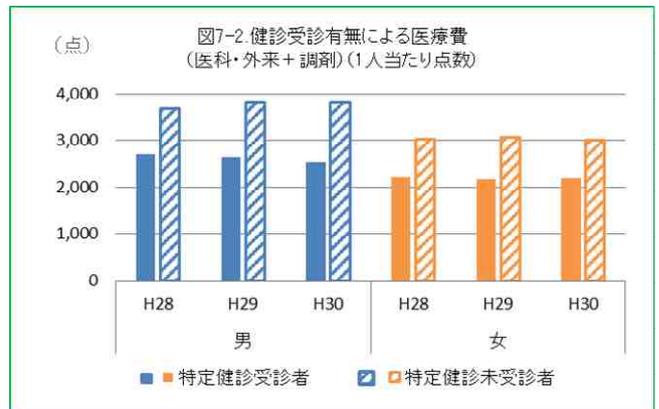
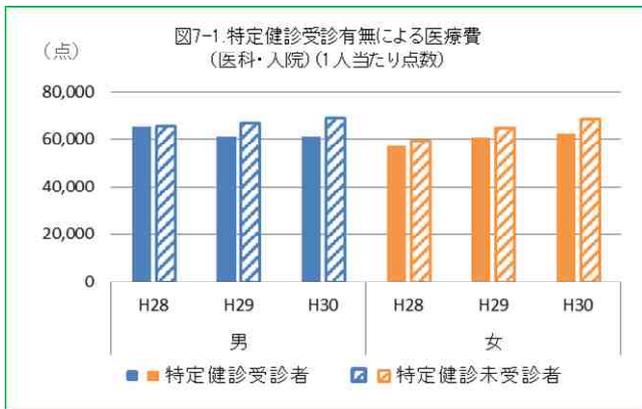
出典：KDB帳票No.42(疾病別医療費分析(大分類))(平成28～30年度)



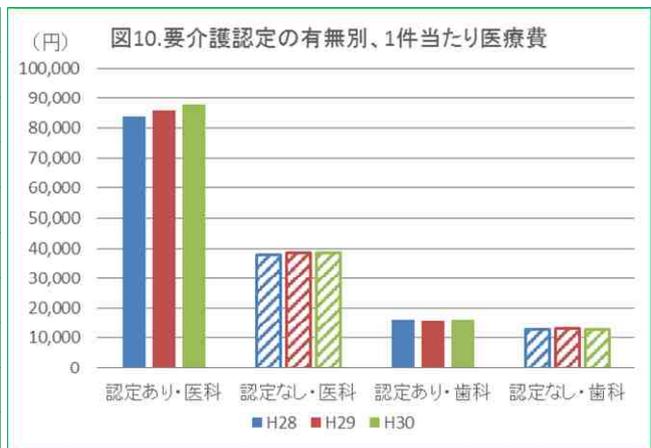
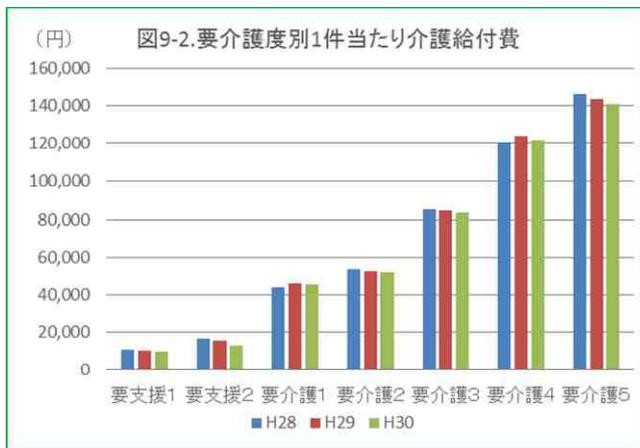
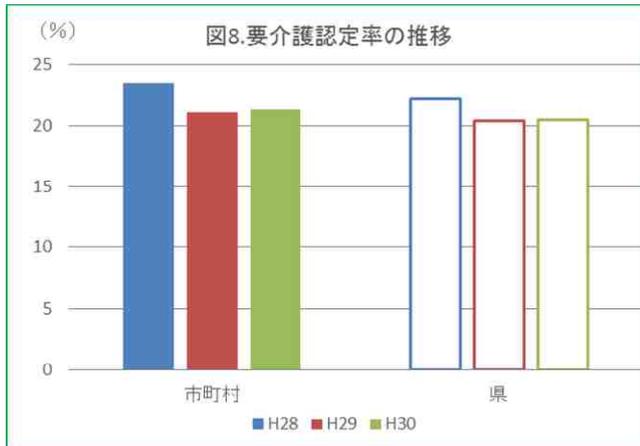
出典：特定健診データ管理システムTKCA002/TKCA012（平成28～30年度）



出典: 特定健診データ管理システムTKAC003 (平成28～30年度)



出典: KDBNo.46 (医療費分析(健診有無別)) (平成28～30年度)



出典：KDB帳票No.1(地域の全体像の把握)(平成28～30年度)

### 【医療費の状況】

1人当たり医療費では、医科・入院、医科・外来、調剤は県平均よりやや低く、歯科は県平均よりやや高い。

疾病分類別入院医療費は男女とも新生物が最も高く、全入院医療費の22%を占める。

20～59歳では男女とも精神が最も高くなっている。

外来医療費では男女とも新生物、循環器、内分泌が高く、この3疾患で全外来医療費の約40%を占める。特に女性の内分泌が高い。

### 【特定健診の状況】

特定健診実施率は増加傾向にあるが、保健指導実施率は、H29年度に比べて男性では45～59歳、70～74歳で減少している。女性では40～49歳、70～74歳で大きく減少し、50～54歳、65～69歳で増加するなど年代によって差がみられる。

メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の増減は年代によりばらつきがあるが、女性の該当者は減少し予備群が増加している傾向にある。

空腹時血糖、HbA1cの有所見者割合は、県平均と比べH29年度よりさらに正常値の割合が低く保健指導判定値、受診勧奨判定値の割合が高い。

### 【介護の状況】

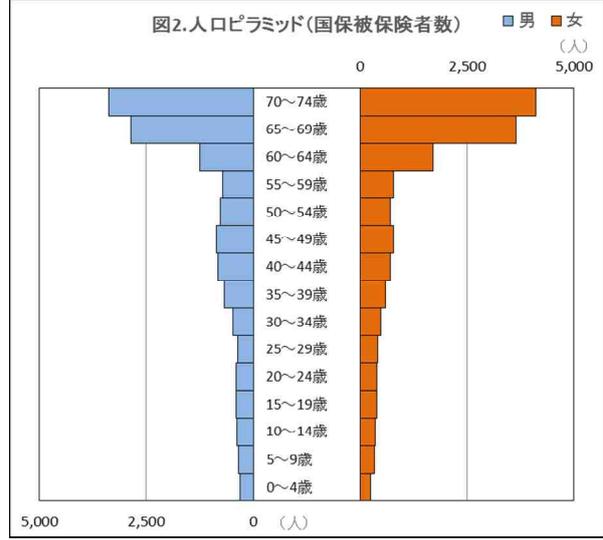
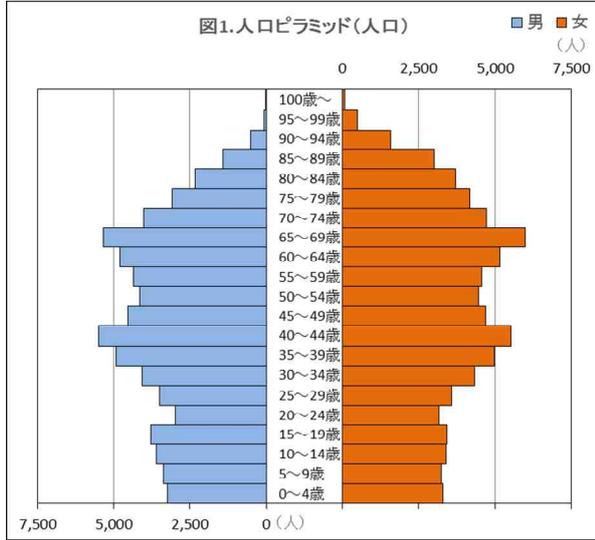
介護給付費の要支援は年々減少しており、平成28年度の約4割に減少している。

# 米子市

## 概要

人口総数	147,205人
高齢化率	27.6%
国保被保険者数	29,611人
国保加入率	20.1%
国保被保険者の平均年齢	54.2歳

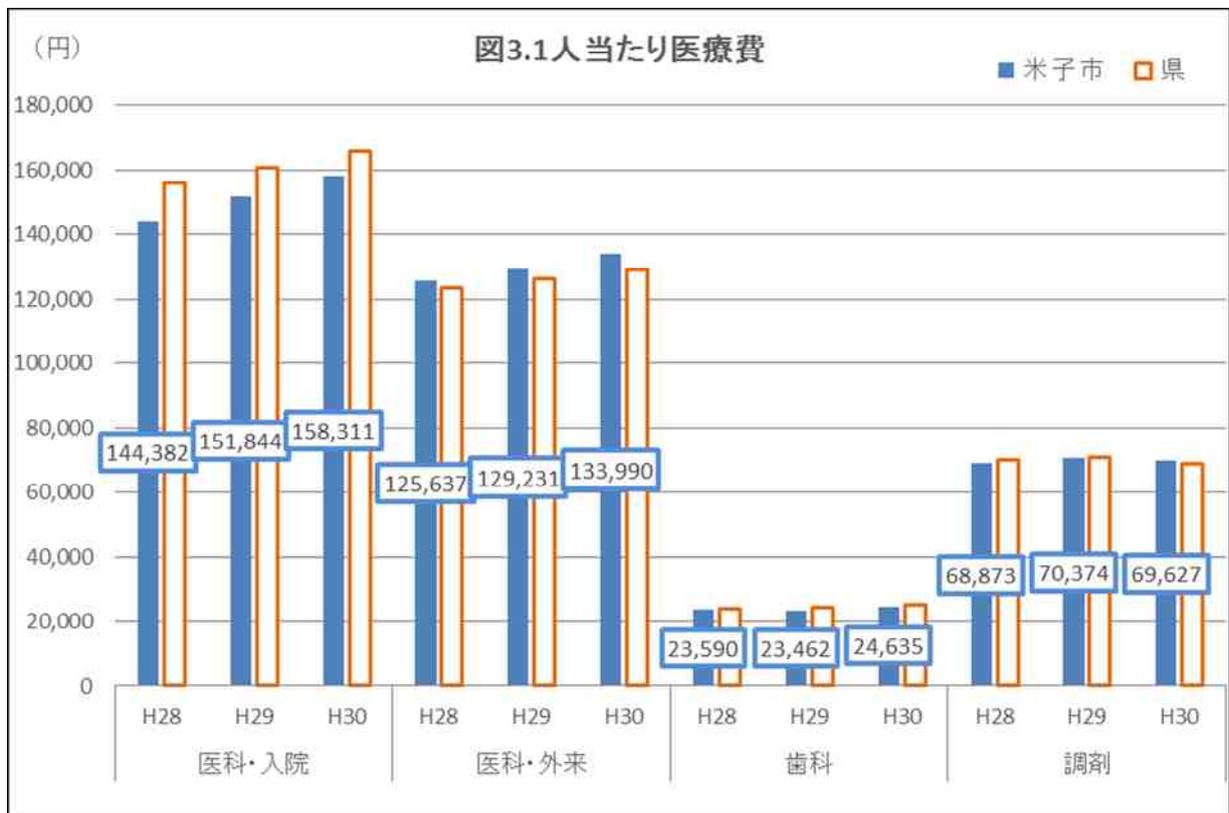
出典：KDB帳票No.3(平成30年度累計)



出典：KDB帳票No.5(平成30年度累計)

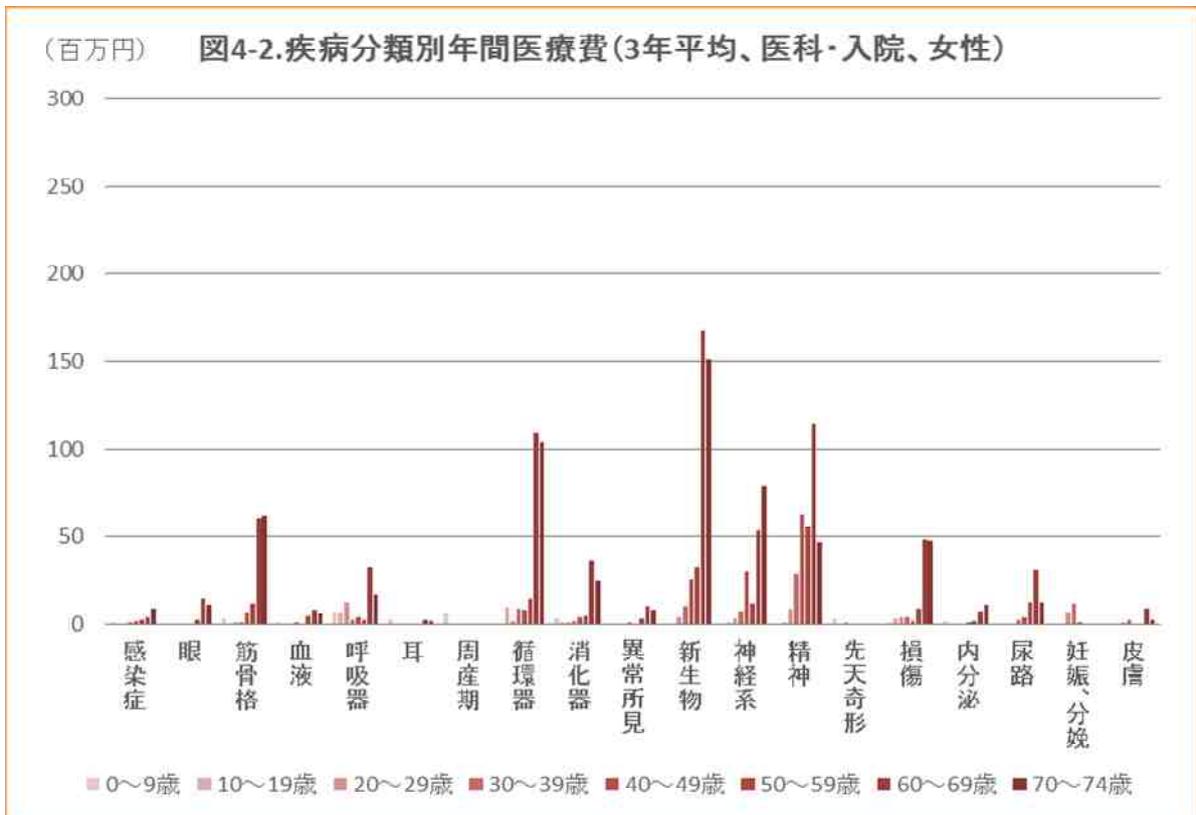
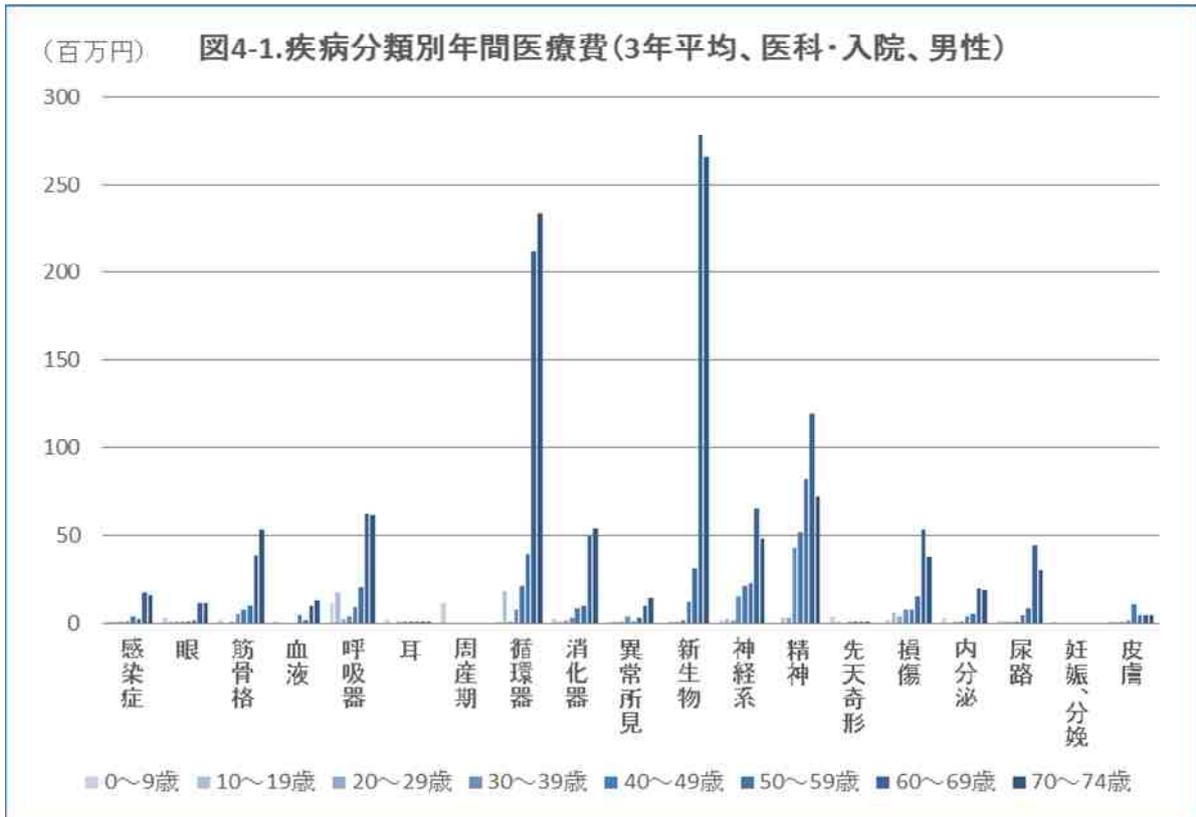
# 米子市

## 医療費の状況



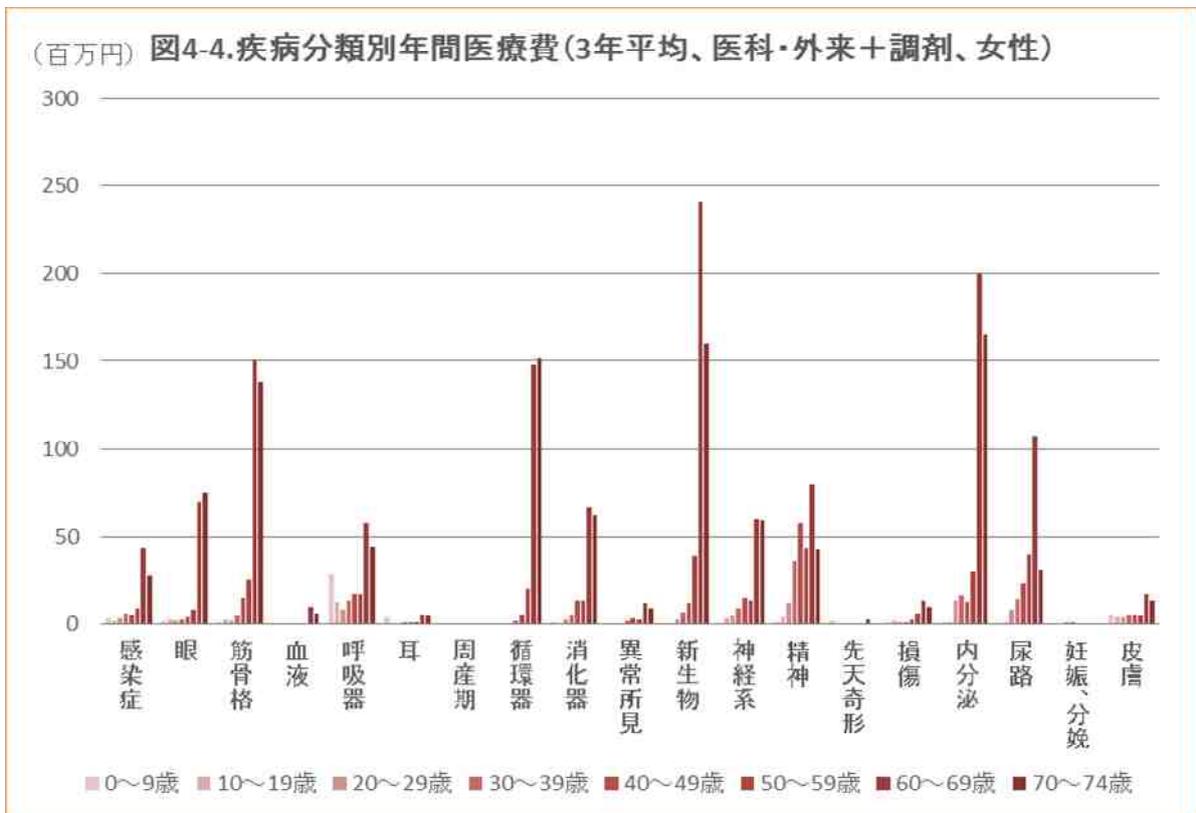
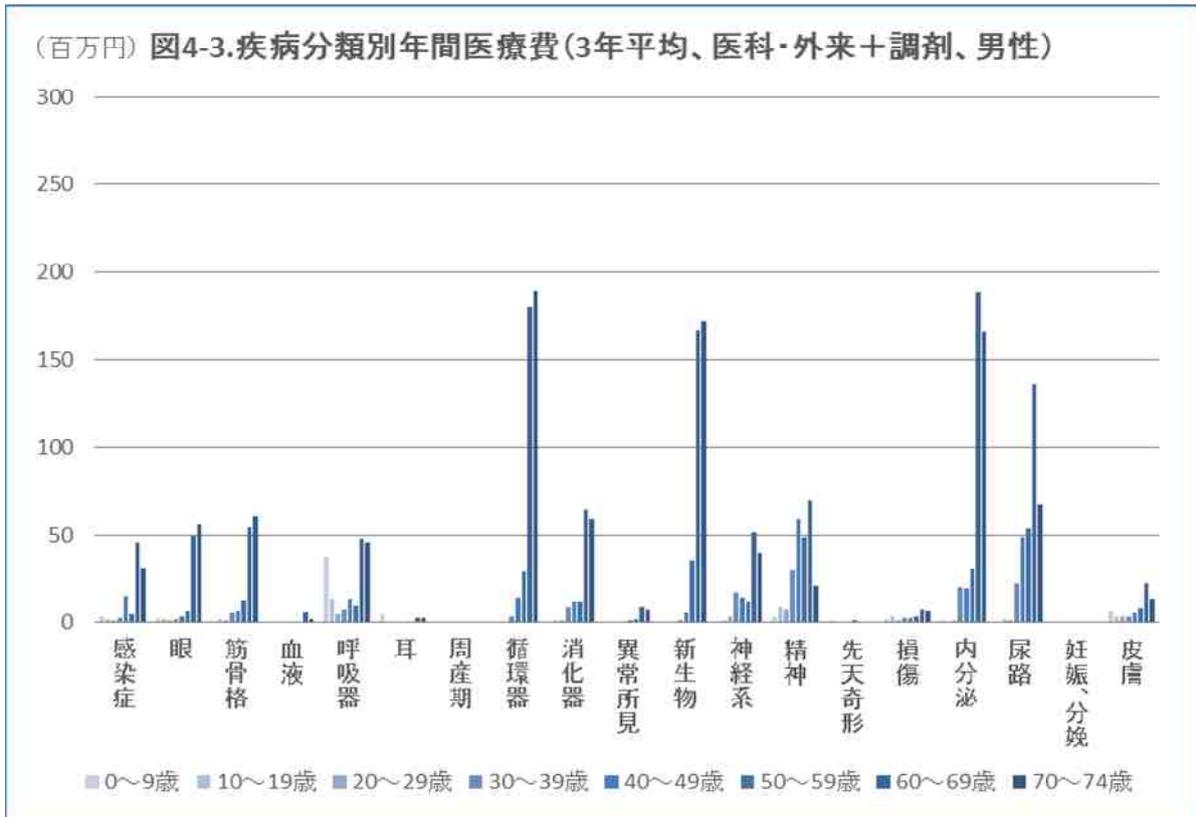
市町村のみ、グラフに1人当たり医療費を表示

出典：国保総合システム(平成28～30年度)



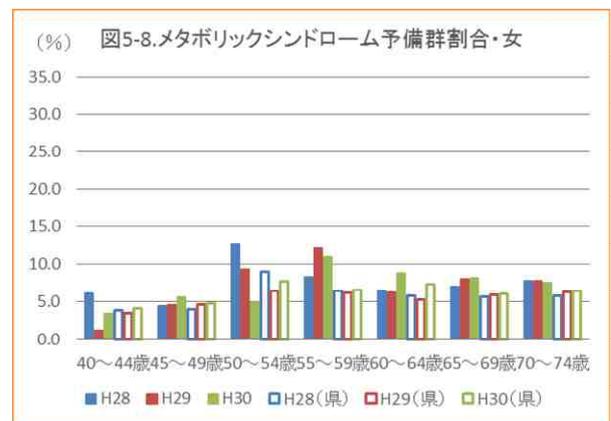
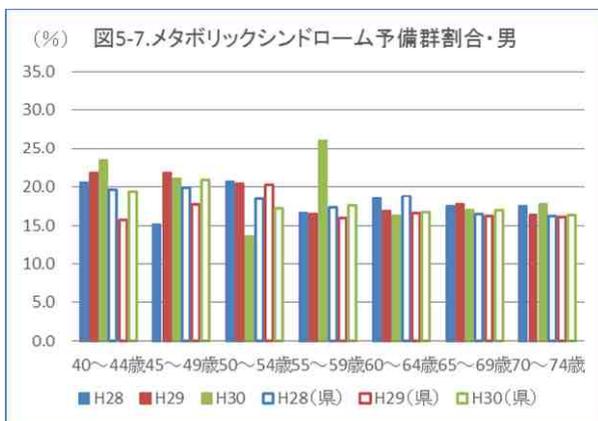
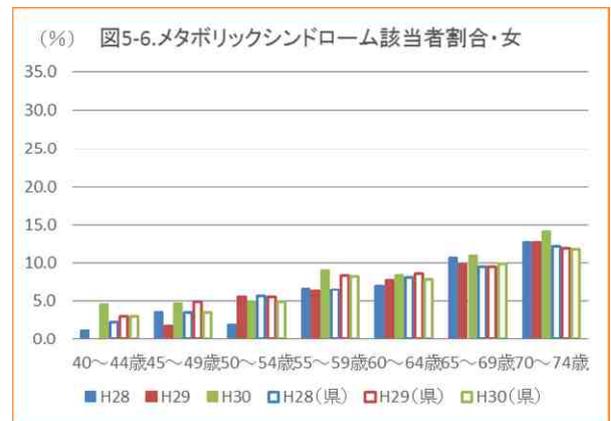
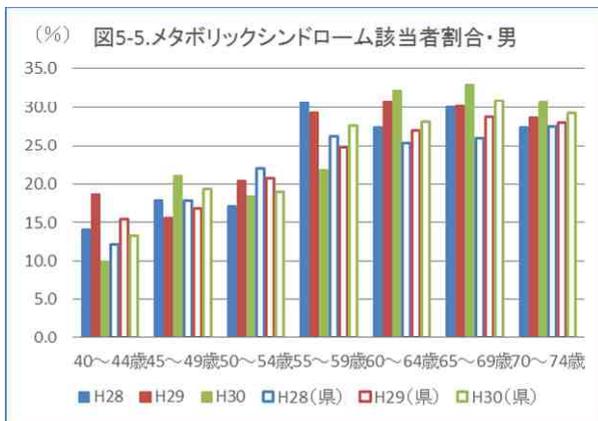
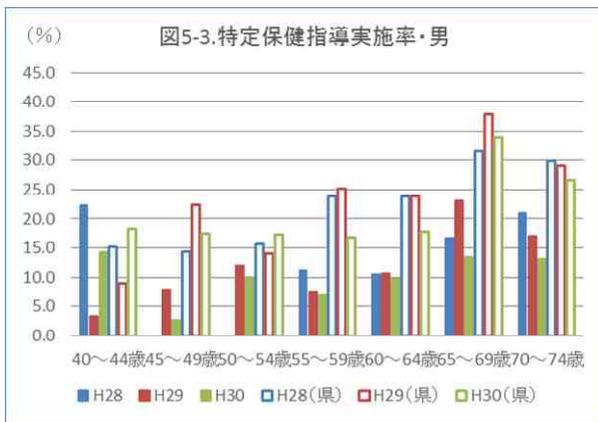
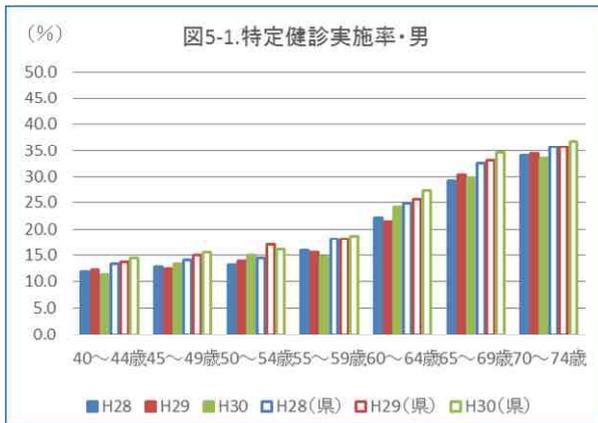
本データは、医科に係る入院レセプトのみ

出典：KDB帳票No.42(疾病別医療費分析(大分類))(平成28～30年度)

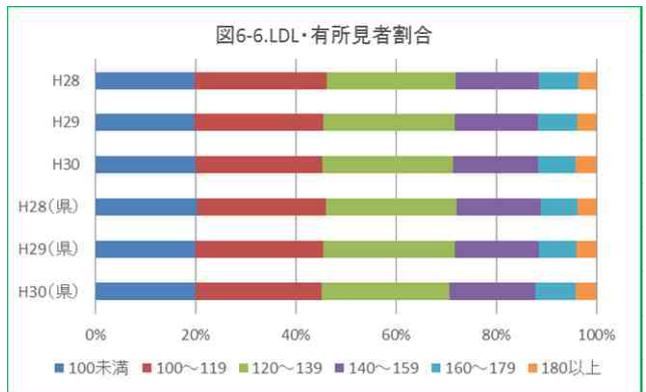
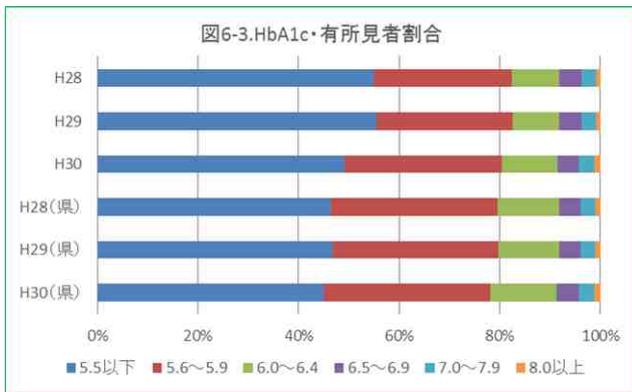
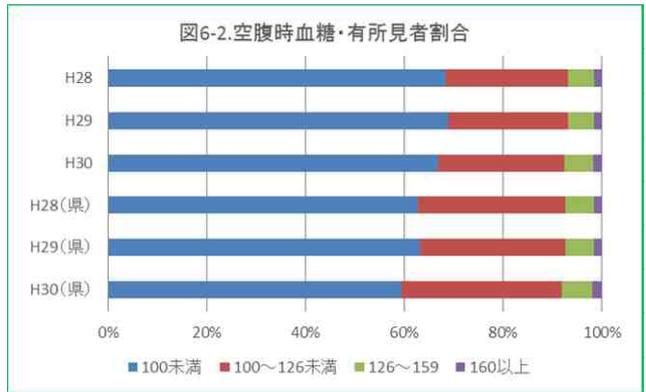
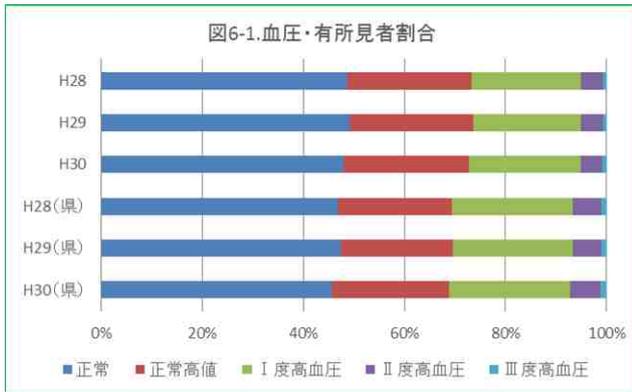


本データは、医科に係る外来レセプトとそれに紐づく調剤レセプト

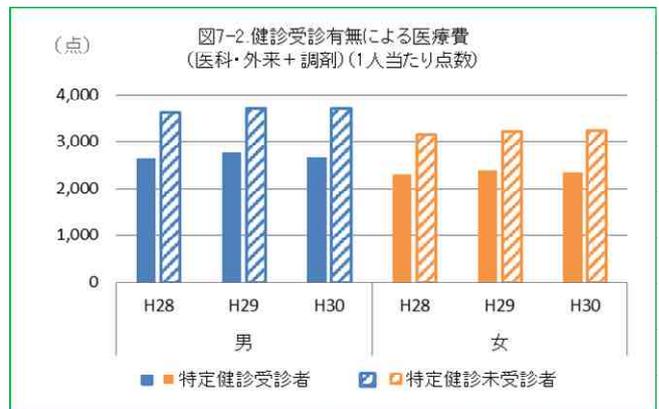
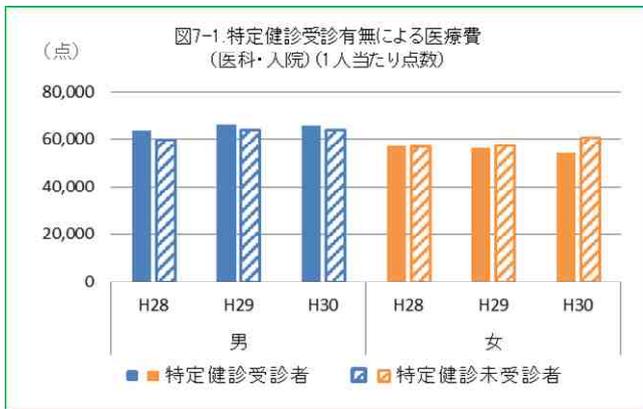
出典：KDB帳票No.42(疾病別医療費分析(大分類))(平成28～30年度)



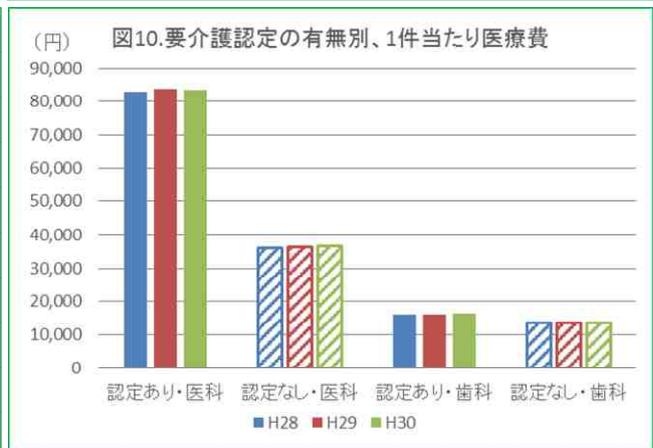
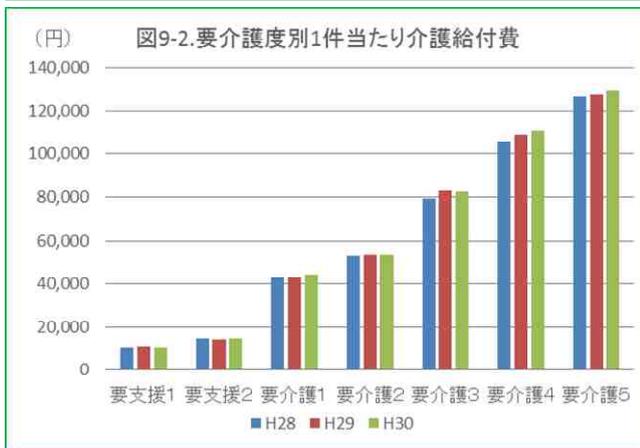
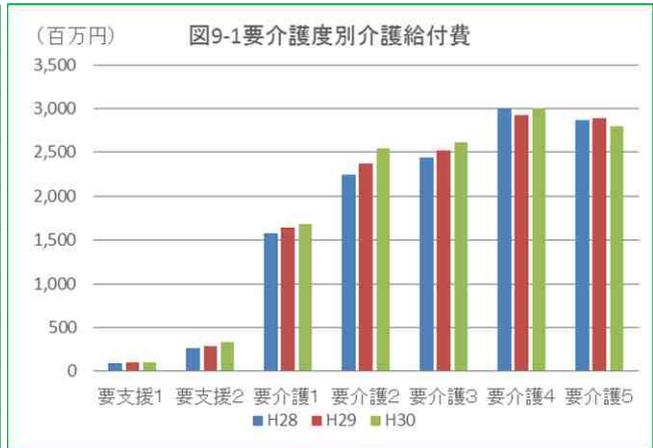
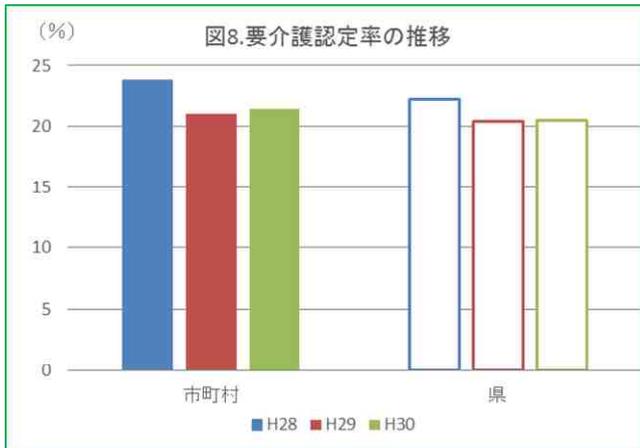
出典：特定健診データ管理システムTKCA002/TKCA012（平成28～30年度）



出典: 特定健診データ管理システムTKAC003 (平成28~30年度)



出典: KDBNo.46 (医療費分析(健診有無別)) (平成28~30年度)



出典：KDB帳票No.1(地域の全体像の把握)(平成28～30年度)

【医療費の状況】

1人当たり医療費は、医科・入院、歯科では県平均よりやや低いが、医科医療費は増加傾向にある。

疾病分類別入院医療費は、男女ともに新生物、循環器、精神が高く、精神は20歳代から増加し、新生物と循環器は60歳代から急増している。

【特定健診の状況】

特定健診、特定保健指導実施率は男女ともすべての年代で県平均より低い。

メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合は県平均より高い年代が多く、特に女性の該当者割合はH29年度に比べ高くなっている年代が多い。男性の55～59歳の予備群がH28年度、H29年度と比べ大きく増加している。

血圧、空腹時血糖、HbA1cの有所見者割合は、県平均と比べ正常値の割合が高いが、H28年度、H29年度と比べると低くなっている。

【介護の状況】

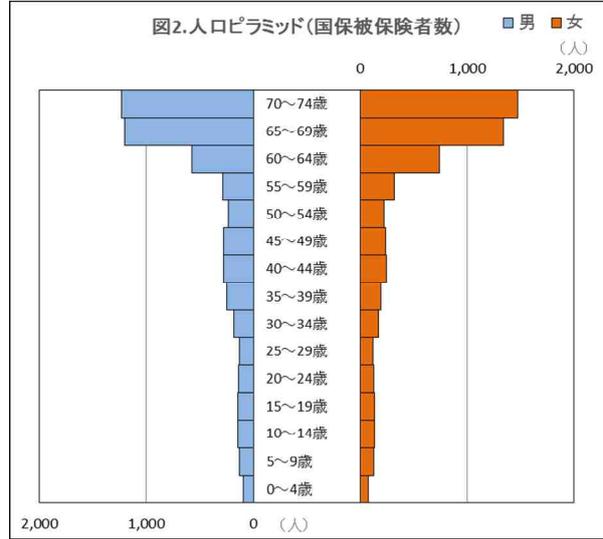
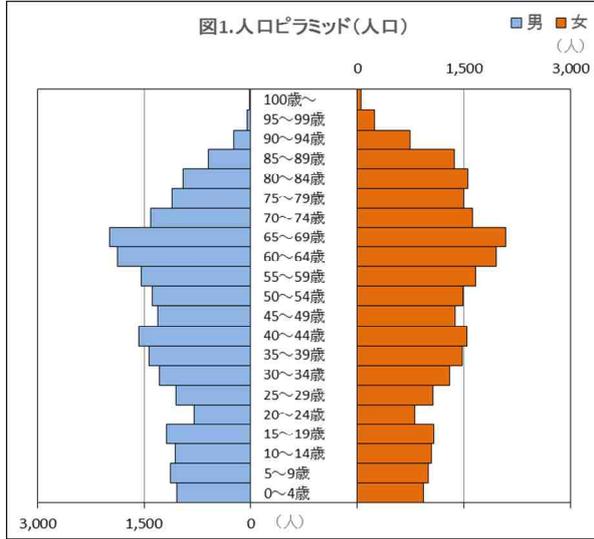
介護給付費は増加傾向にあり、特に要支援が増加している。

# 倉吉市

## 概要

人口総数	48,886人
高齢化率	31.7%
国保被保険者数	10,993人
国保加入率	22.5%
国保被保険者の平均年齢	54.9歳

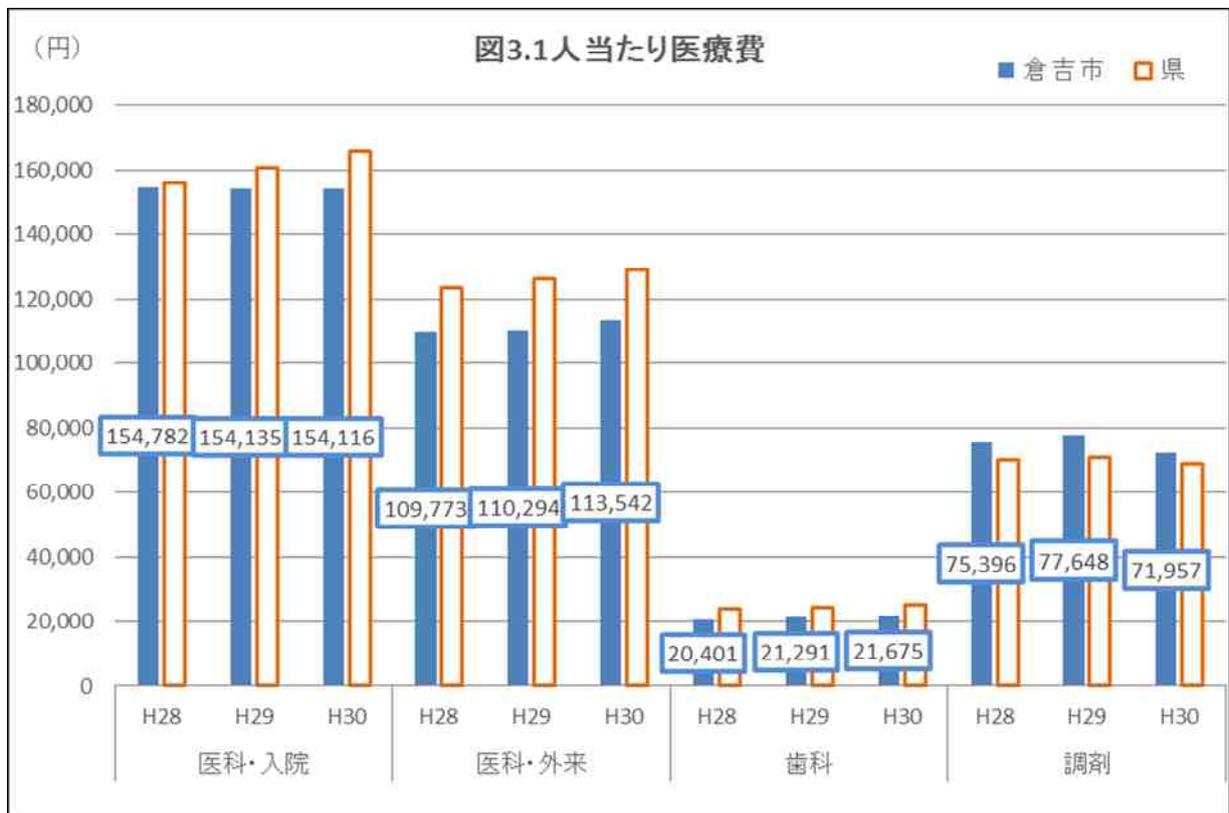
出典：KDB帳票No.3(平成30年度累計)



出典：KDB帳票No.5(平成30年度累計)

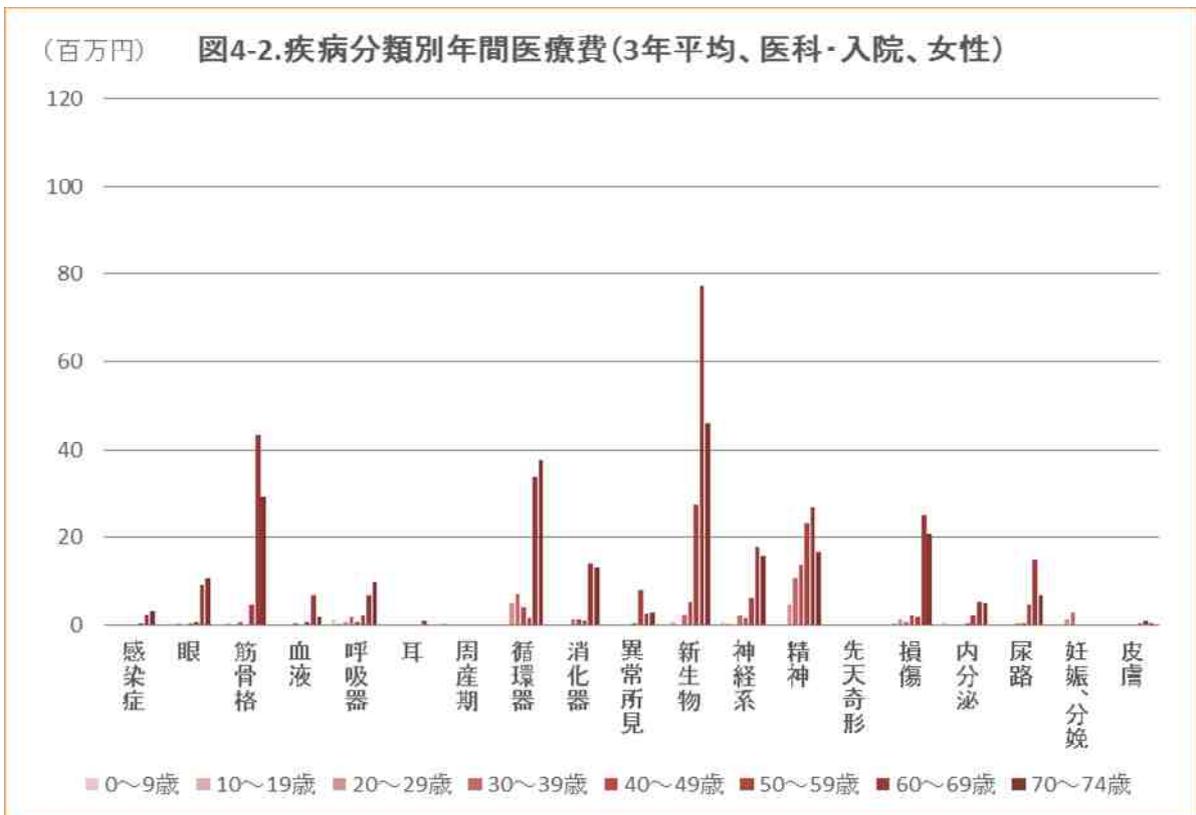
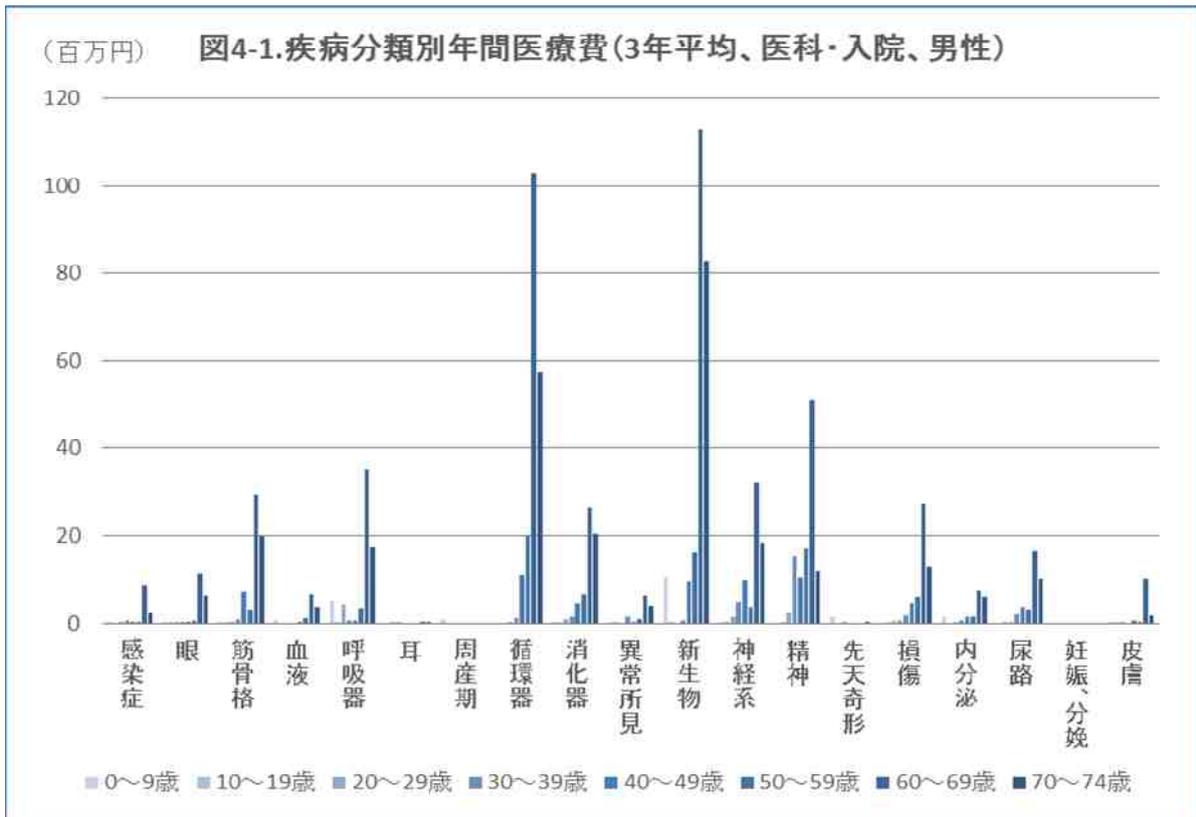
# 倉吉市

## 医療費の状況



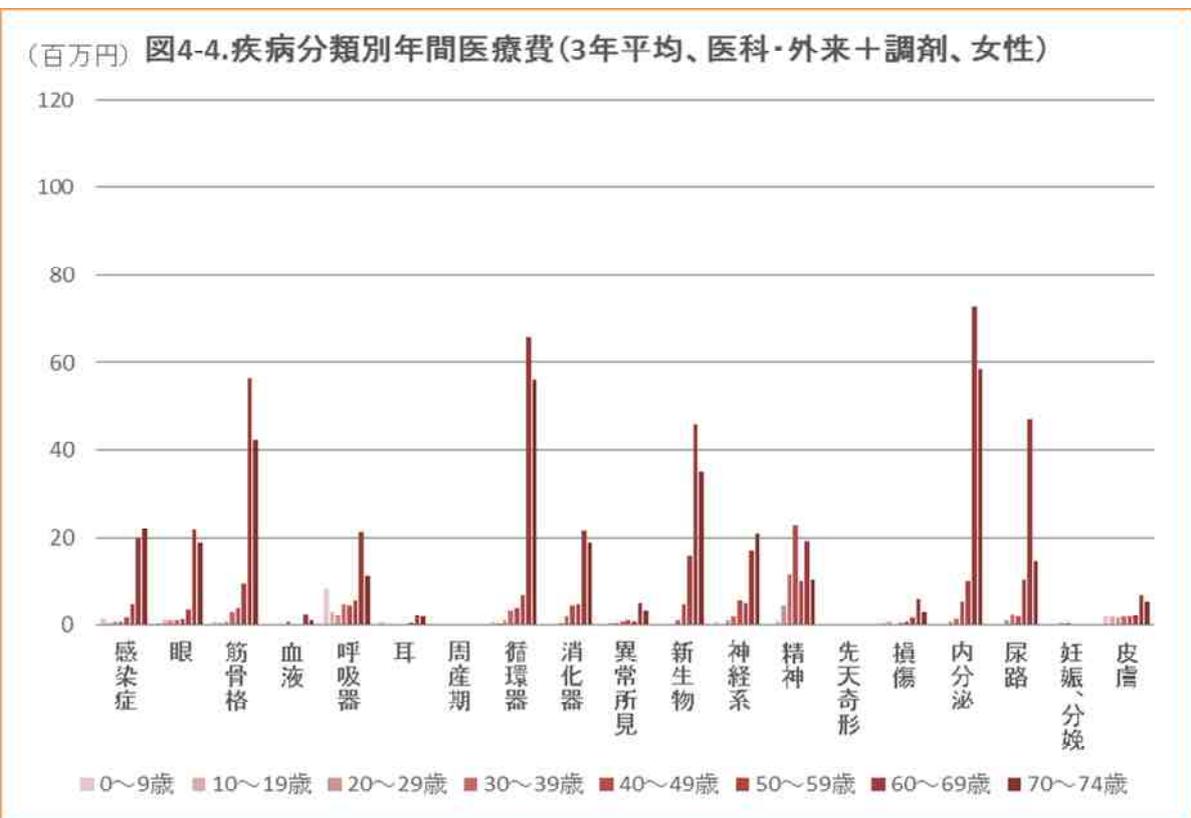
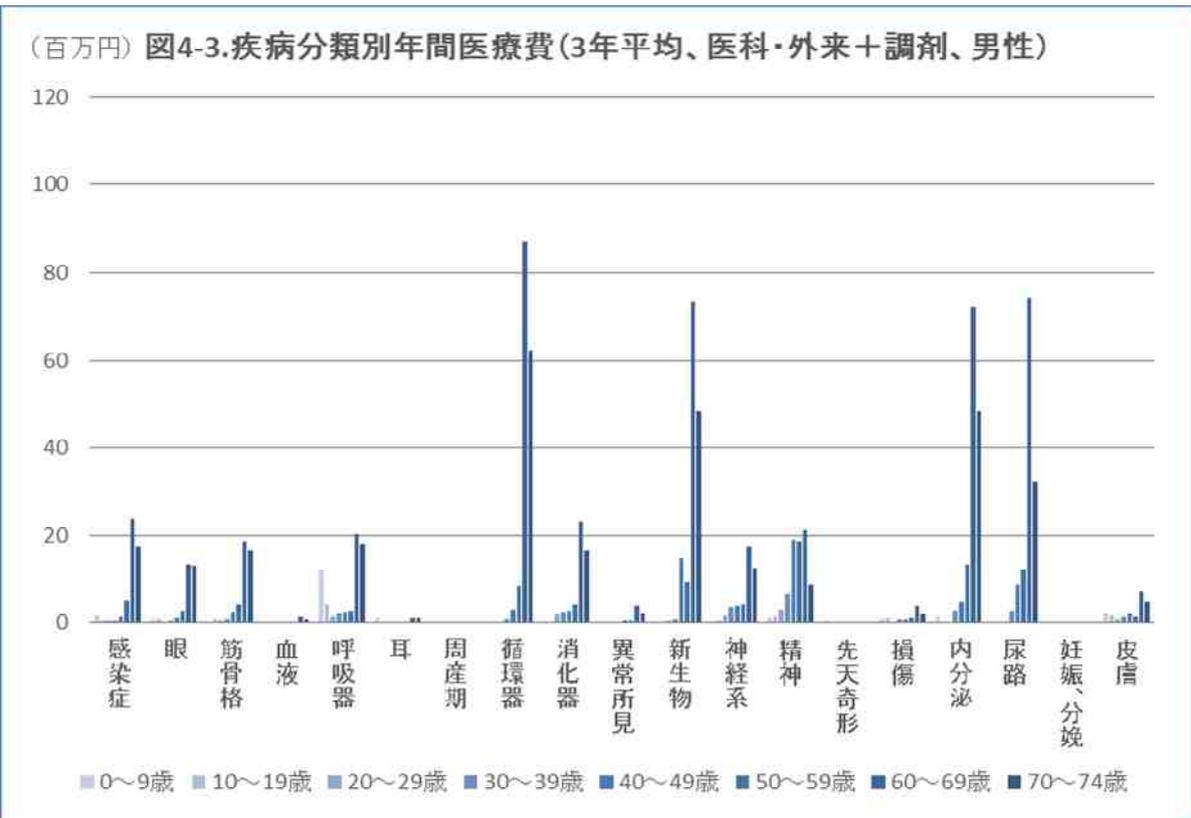
市町村のみ、グラフに1人当たり医療費を表示

出典：国保総合システム(平成28～30年度)



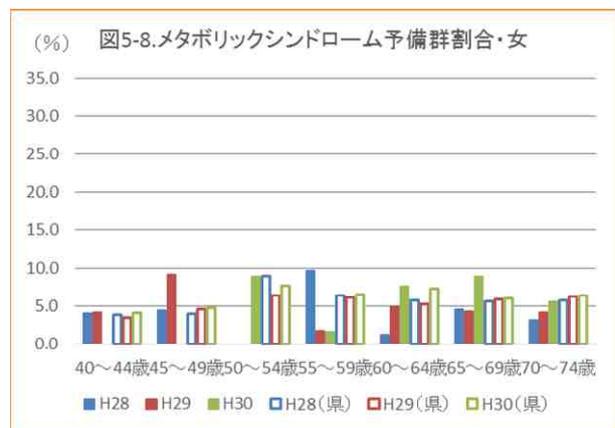
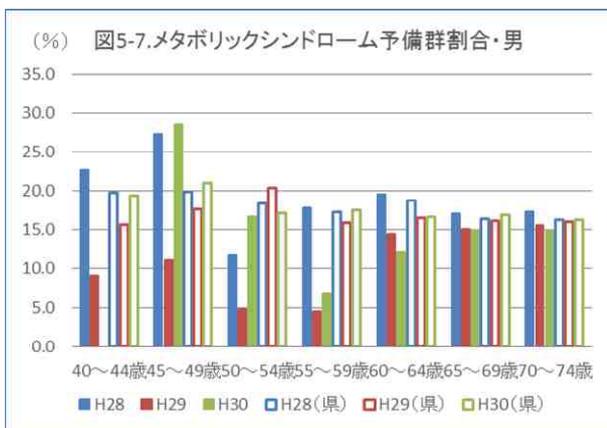
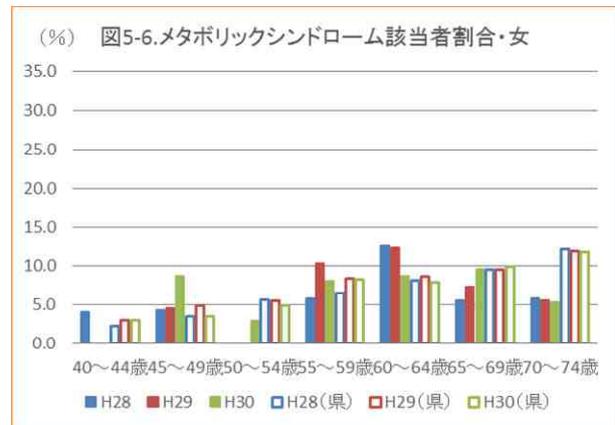
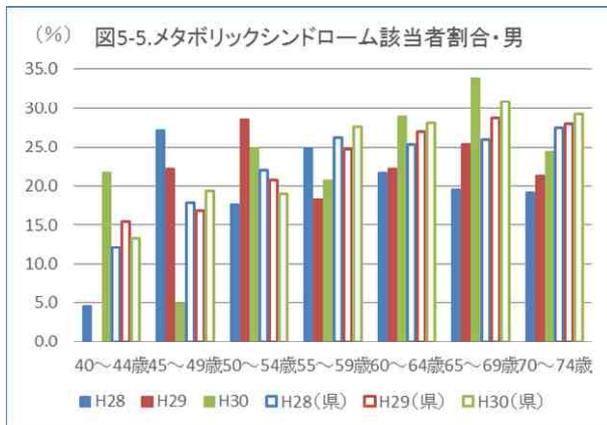
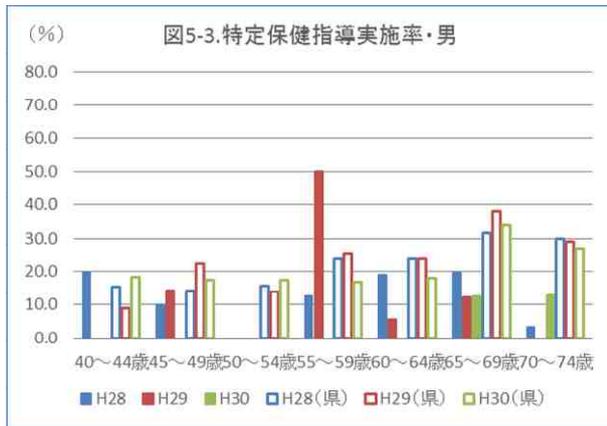
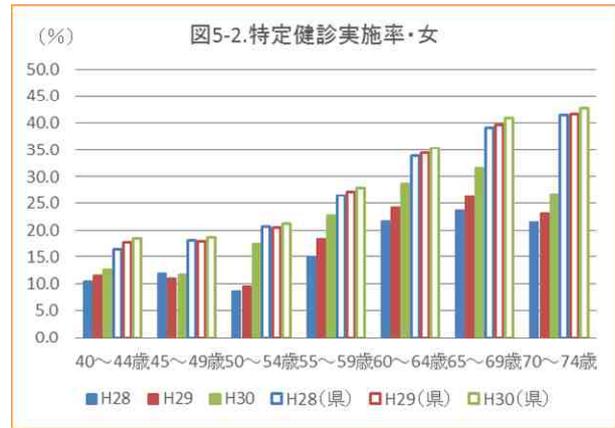
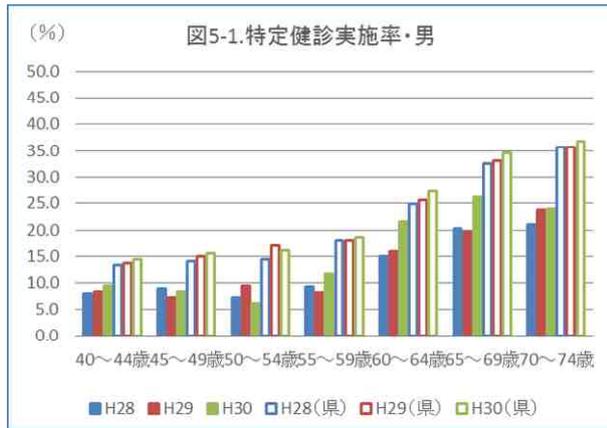
本データは、医科に係る入院レセプトのみ

出典：KDB帳票No.42(疾病別医療費分析(大分類))(平成28～30年度)

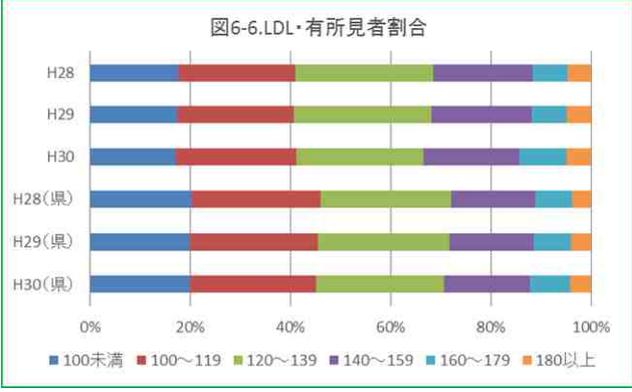
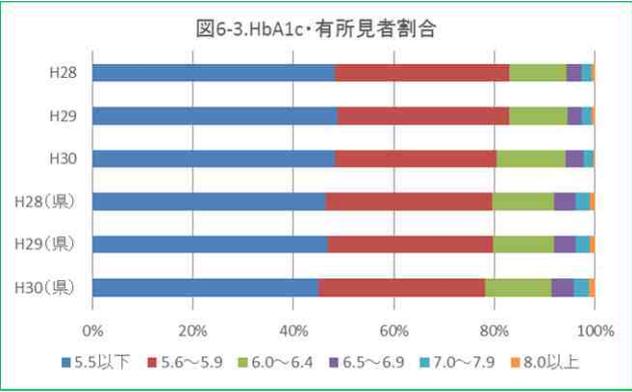
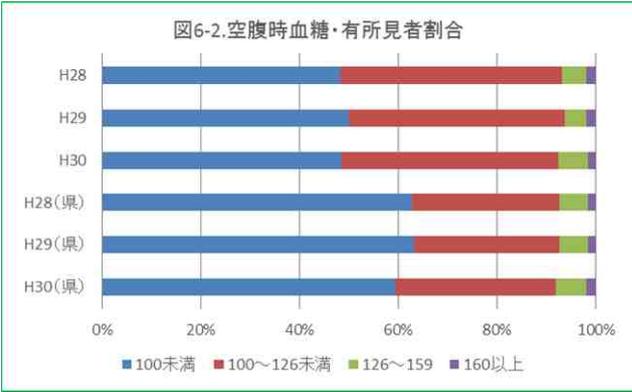
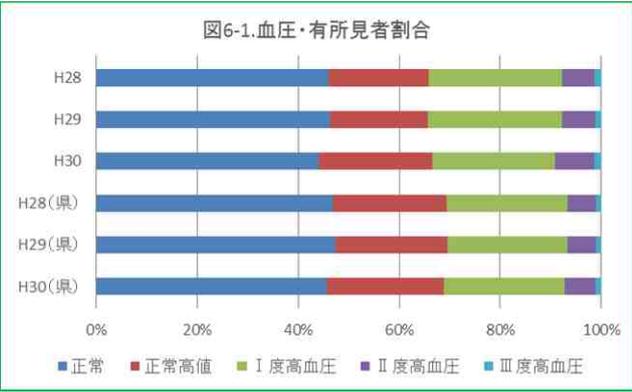


本データは、医科に係る外来レセプトとそれに紐づく調剤レセプト

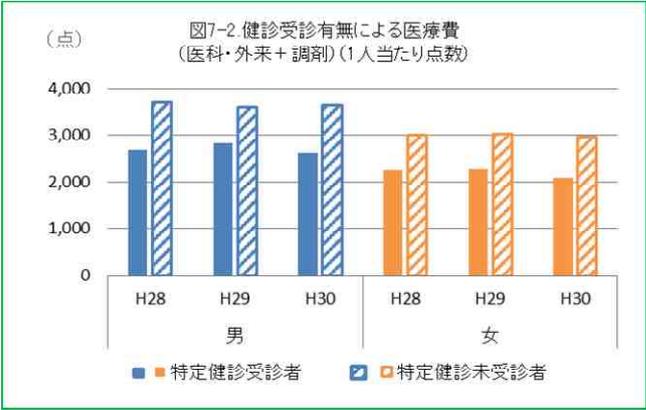
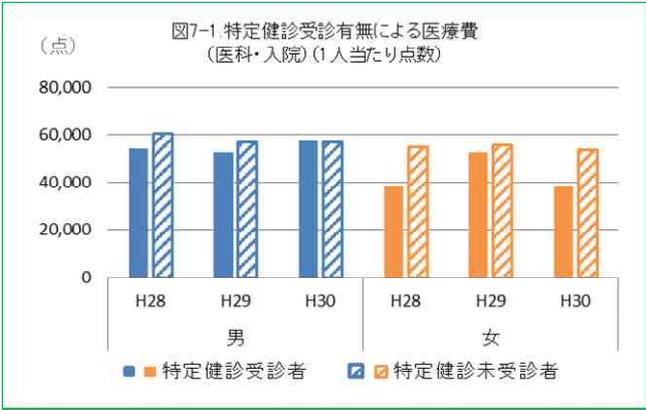
出典：KDB帳票No.42(疾病別医療費分析(大分類))(平成28～30年度)



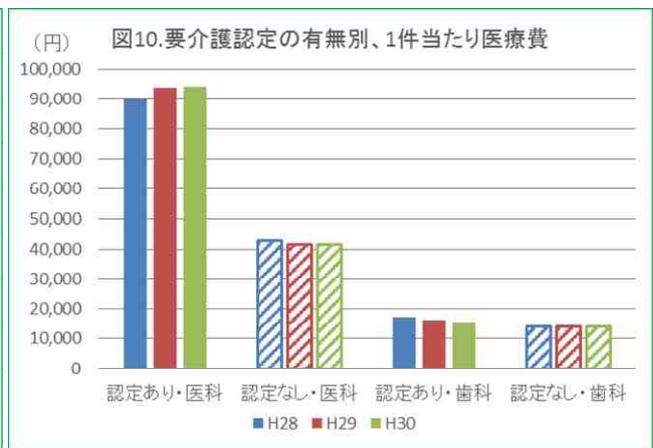
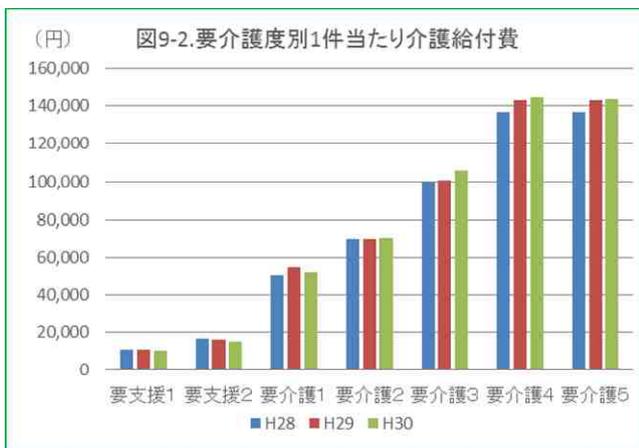
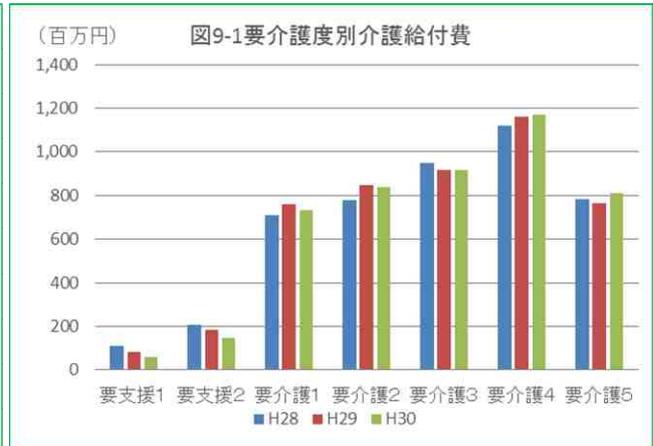
出典: 特定健診データ管理システムTKCA002/TKCA012 (平成28～30年度)



出典: 特定健診データ管理システムTKAC003 (平成28～30年度)



出典: KDBNo.46 (医療費分析(健診有無別)) (平成28～30年度)



出典:KDB帳票No.1(地域の全体像の把握)(平成28~30年度)

【医療費の状況】

1人当たり医療費は、医科・入院、医科・外来、歯科は県平均より低く、調剤は県平均より高い。疾病分類別入院医療費は、男女とも新生物、循環器、精神が高い。特に女性の新生物は女性の入院医療費の約23%を占める。また、男女とも20～49歳までは精神が最も高い。

【特定健診の状況】

特定健診実施率は県平均に比べて低いが、男性の50～54歳以外は男女とも平成29年度に比べ増加している。

保健指導実施率は低く実施していない年代もあるが、女性の45～49歳は100%実施されている。

メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合は年度や年代によりばらつきがあるが、男性の該当者は増加している年代が多い。

空腹時血糖、LDLの有所見者割合は、県平均と比べ保健指導判定値以上の割合が高い。

【介護の状況】

要介護認定率は県平均より低く、平成28年度から減少している。

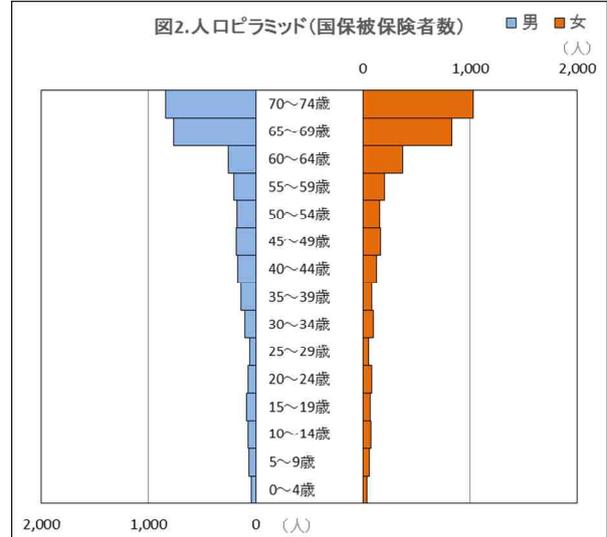
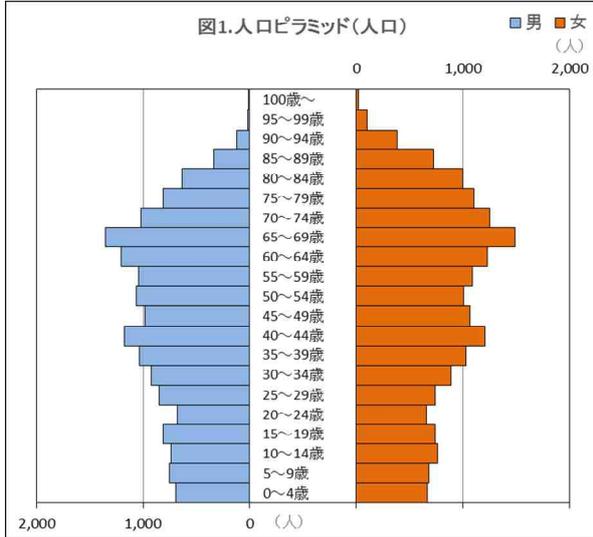
○要介護度別介護給付費は、要支援が平成28年度に比べ30～50%、29年に比べると約20%減少している。

# 境港市

## 概要

人口総数	34,096人
高齢化率	30.4%
国保被保険者数	6,663人
国保加入率	19.5%
国保被保険者の平均年齢	56.5歳

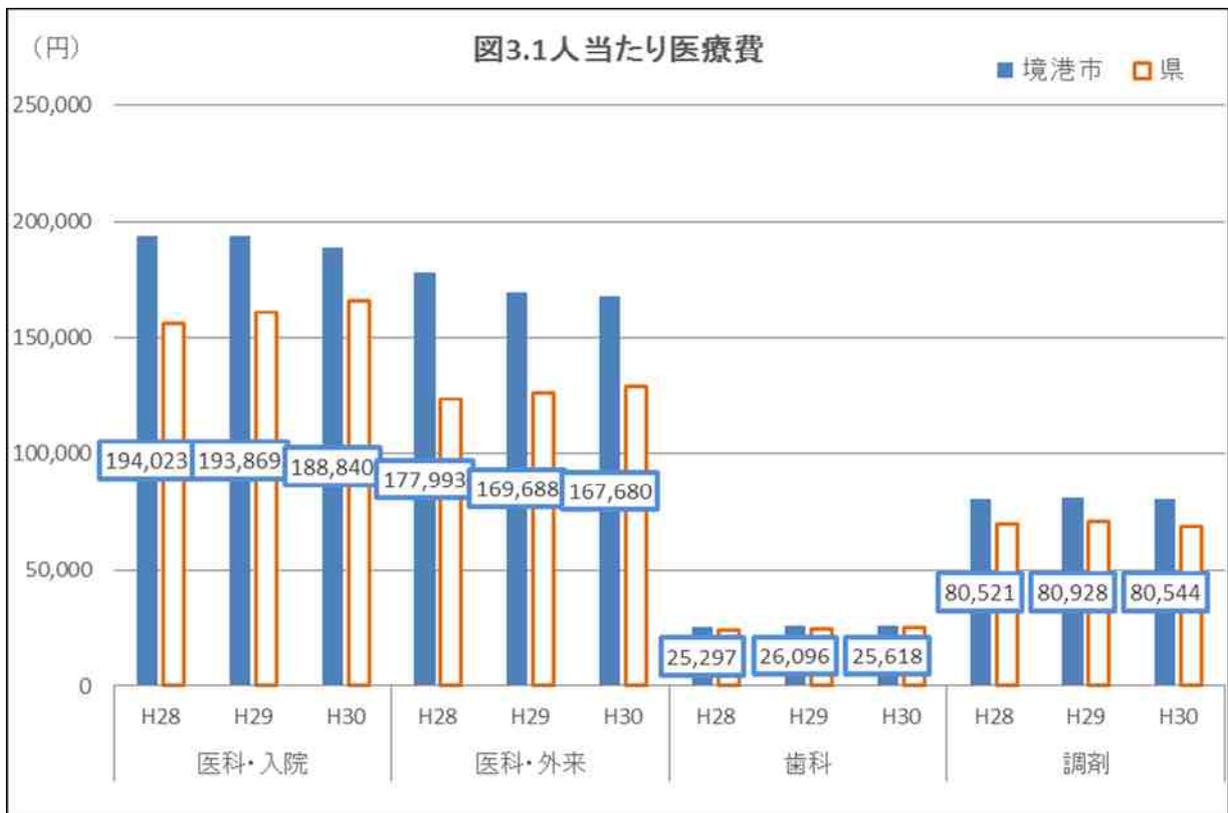
出典：KDB帳票No.3(平成30年度累計)



出典：KDB帳票No.5(平成30年度累計)

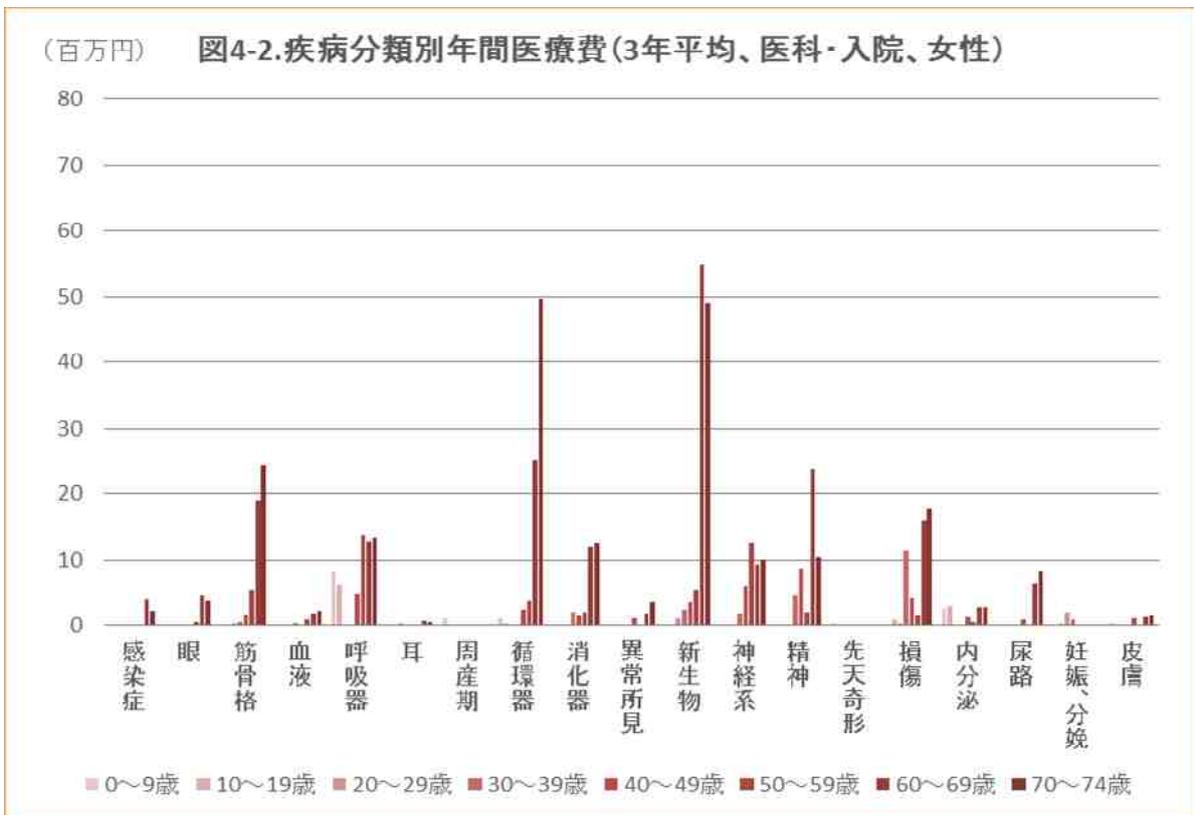
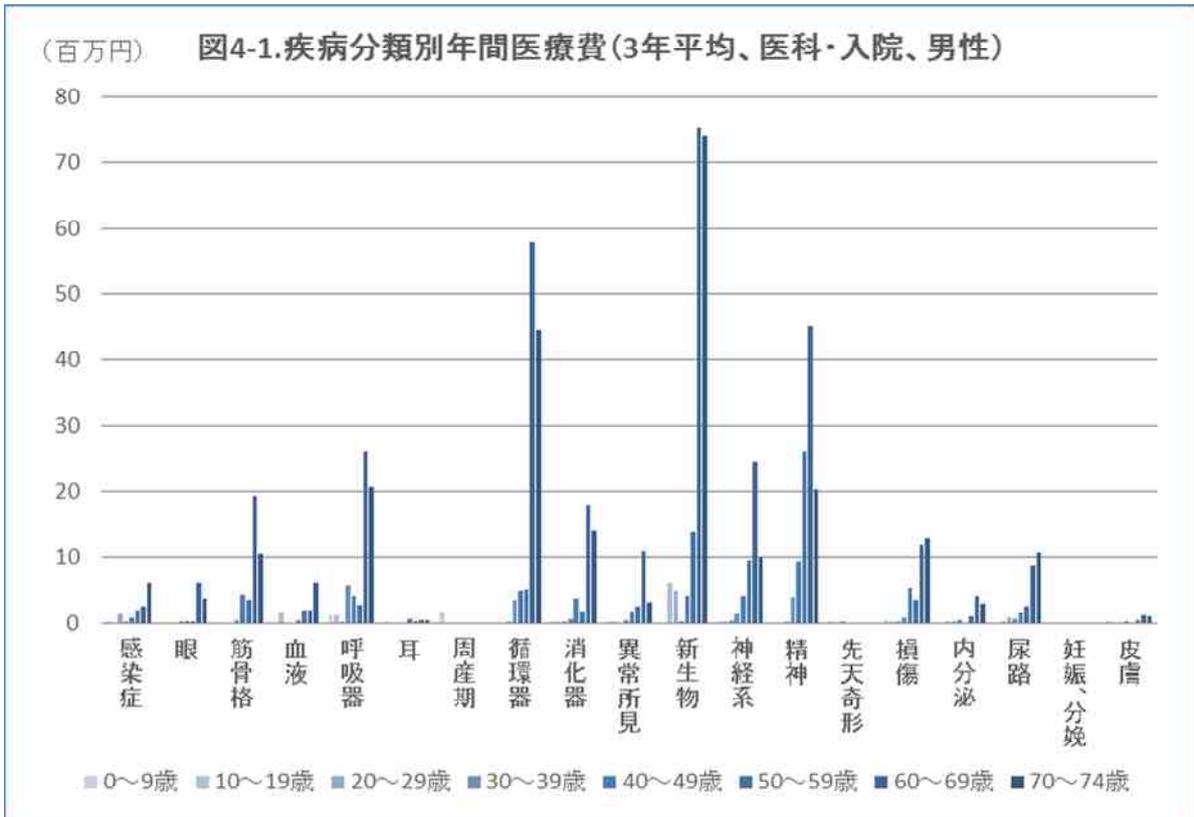
# 境港市

## 医療費の状況



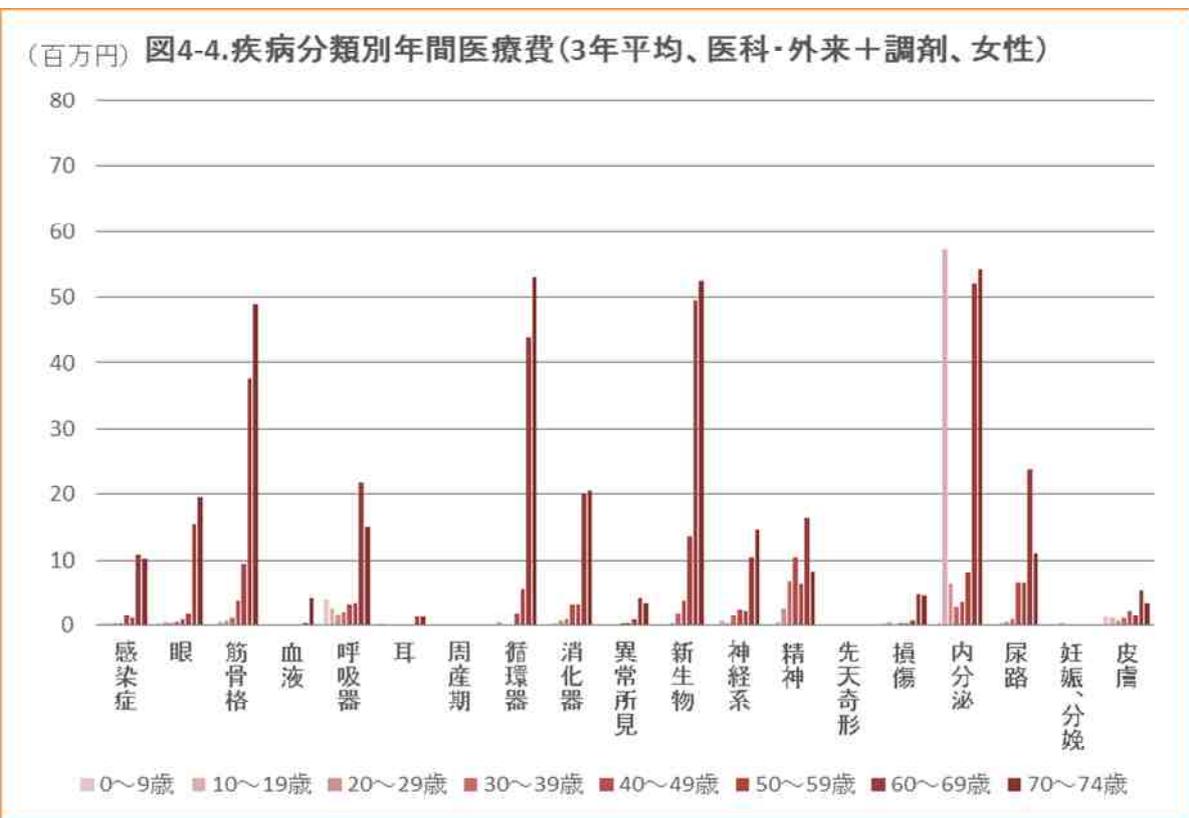
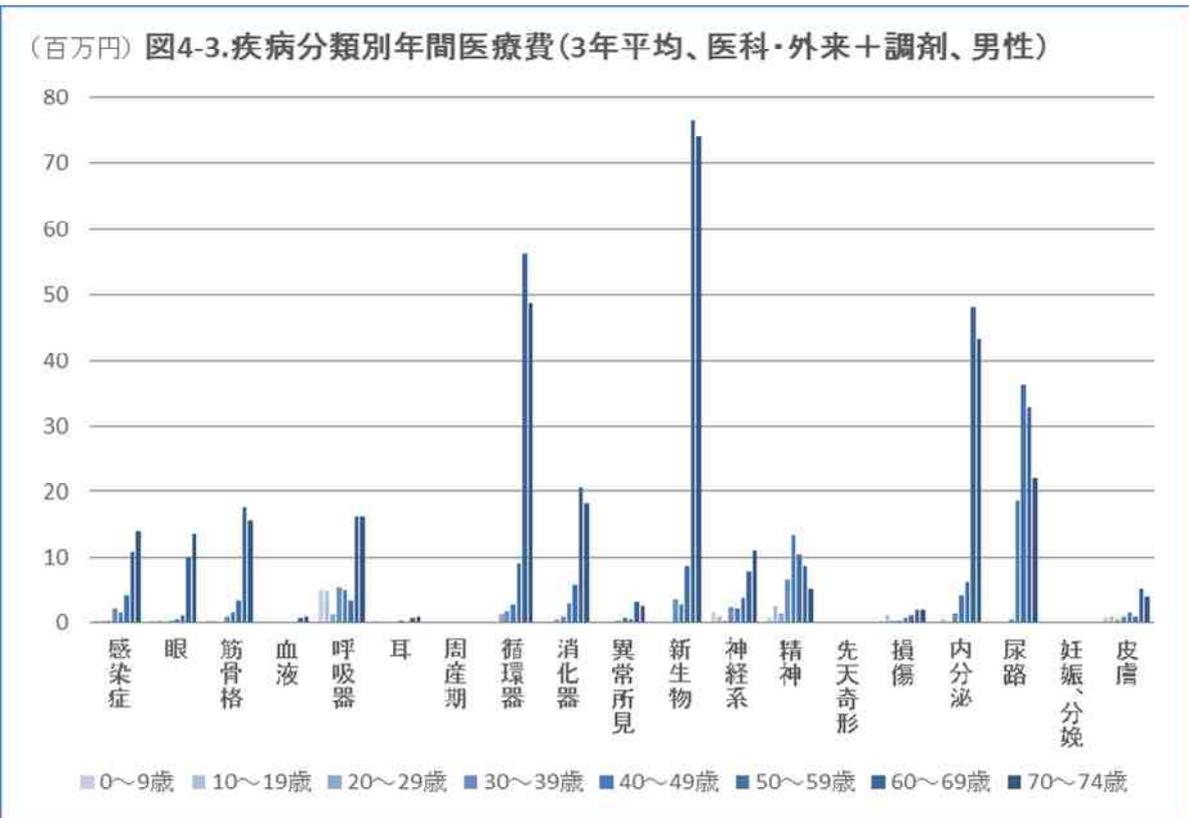
市町村のみ、グラフに1人当たり医療費を表示

出典：国保総合システム(平成28～30年度)



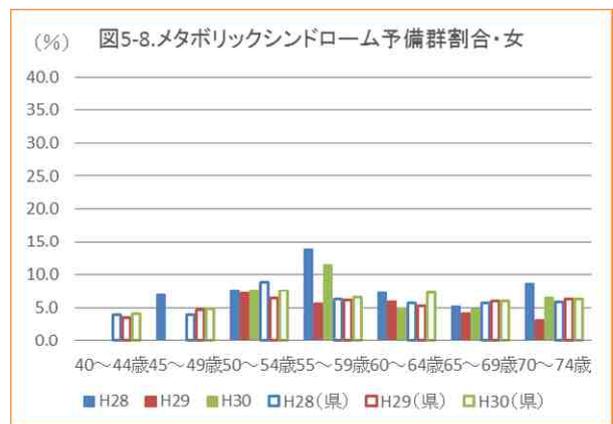
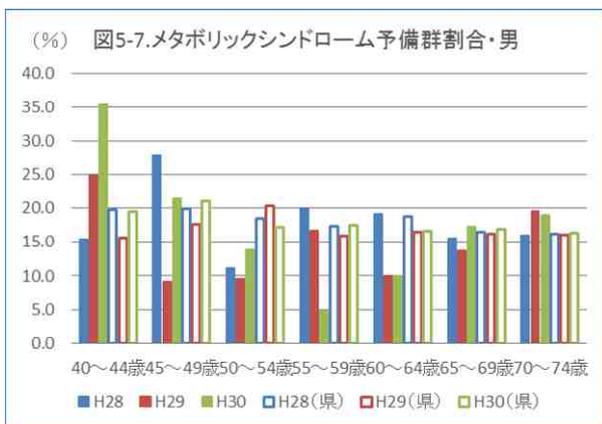
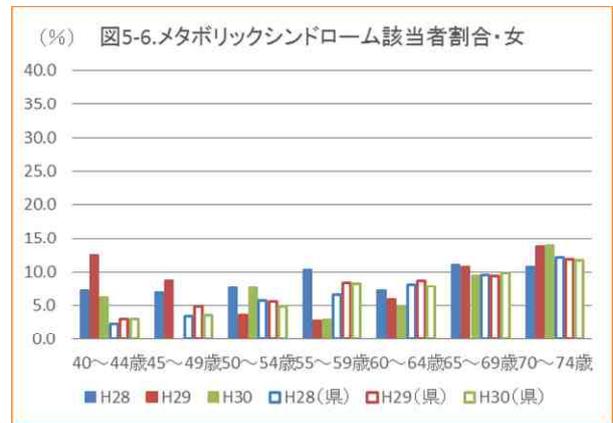
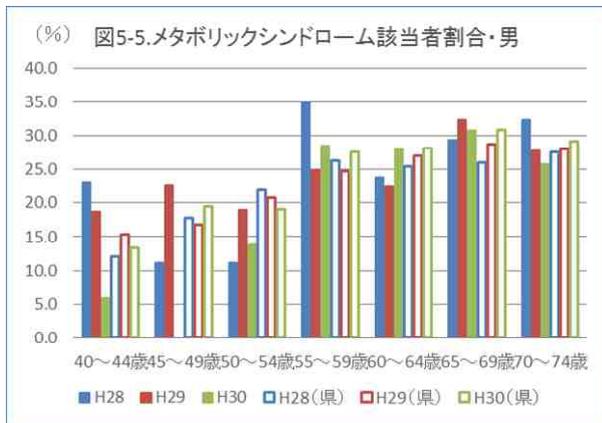
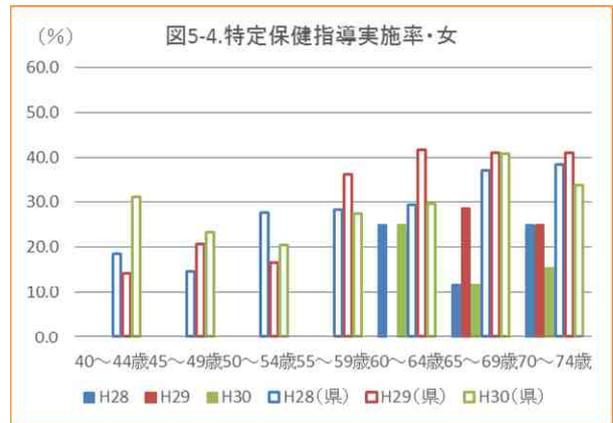
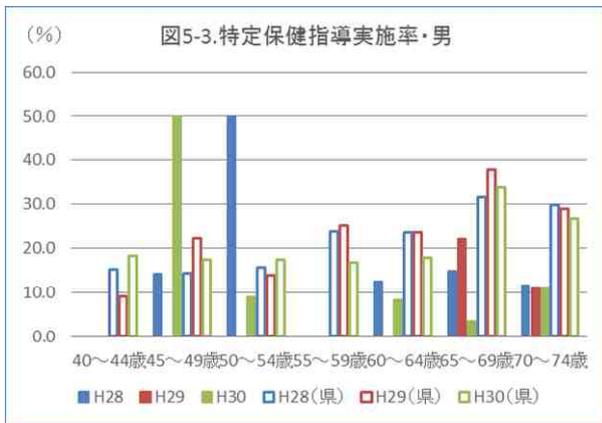
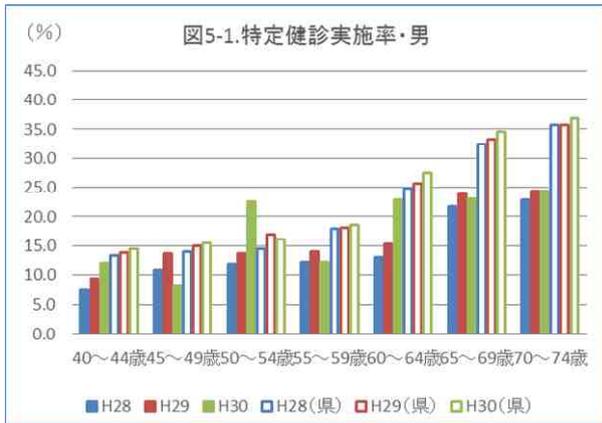
本データは、医科に係る入院レセプトのみ

出典：KDB帳票No.42(疾病別医療費分析(大分類))(平成28～30年度)

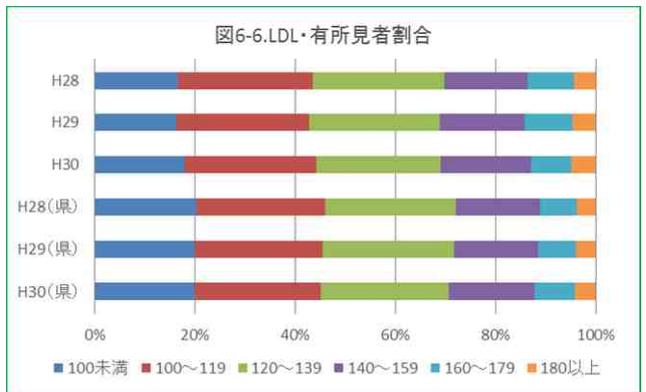
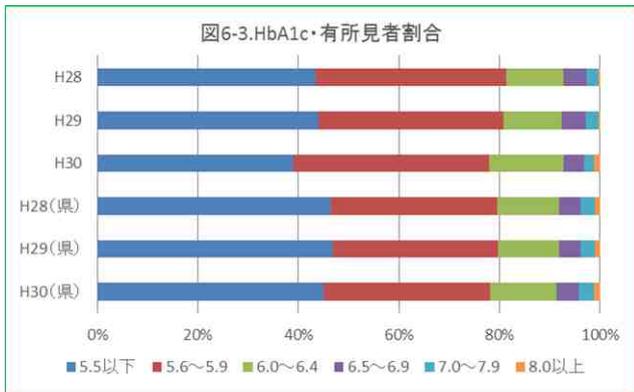


本データは、医科に係る外来レセプトとそれに紐づく調剤レセプト

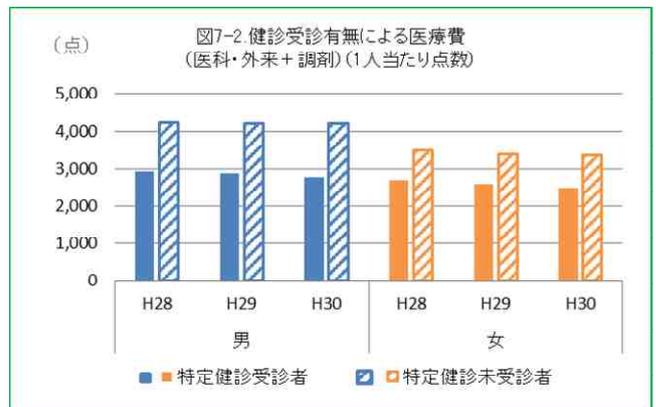
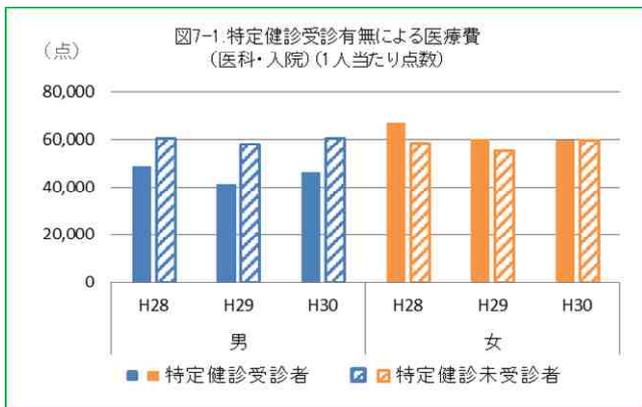
出典：KDB帳票No.42(疾病別医療費分析(大分類))(平成28～30年度)



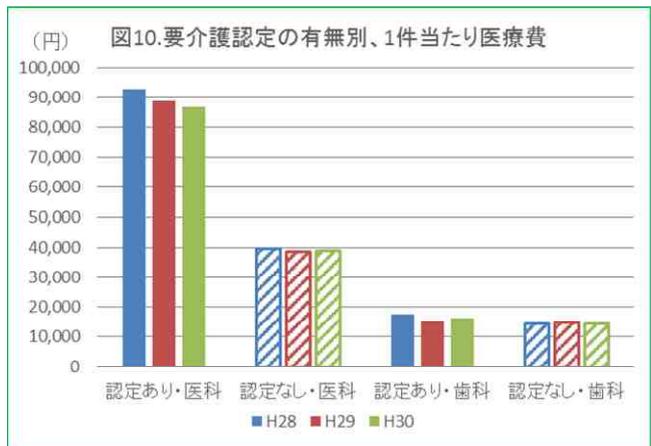
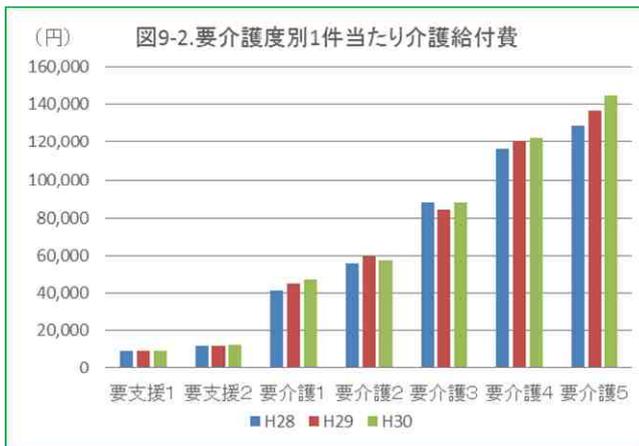
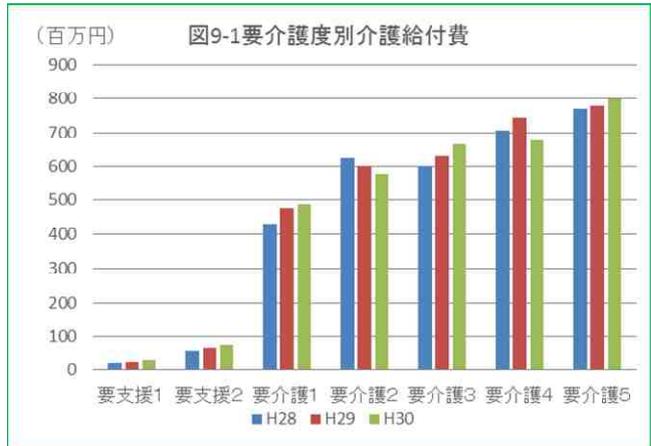
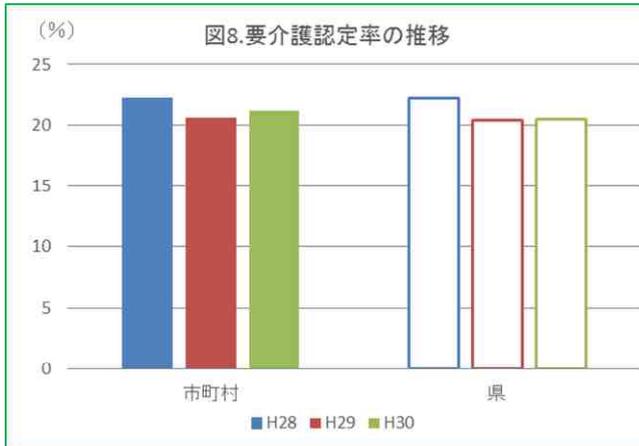
出典: 特定健診データ管理システムTKCA002/TKCA012 (平成28~30年度)



出典: 特定健診データ管理システムTKAC003 (平成28~30年度)



出典: KDBNo.46 (医療費分析(健診有無別)) (平成28~30年度)



出典：KDB帳票No.1(地域の全体像の把握)(平成28～30年度)

【医療費の状況】

1人当たり医療費の、医科・入院、医科・外来、歯科、調剤は県平均より高いが、医科医療費は減少してきている。

疾病分類別入院医療費は男女とも新生物が最も高く、全入院医療費の約23%を占め、特に60歳代から急増している。

外来医療費は男性では新生物、女性では内分泌が高く、特に10歳代の女性の内分泌が高い。

【特定健診の状況】

特定健診実施率は男性の50～54歳、60～64歳がH29年度に比べ大きく増加している。保健指導実施率は男性の45～49歳では50%の実施率となっている。女性は59歳以下の若年層への保健指導の実績がない。

メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合は年度によりばらつきがあるが、男性では40～44歳の予備群が大きく増加している。

HbA1cの有所見者割合は、県平均と比べ保健指導判定値の割合が高く、H29年度と比べても増加している。

【介護の状況】

要支援の介護給付費が増加している。